参考資料２

令和７年度

ジェンダー平等社会に関する

アンケート調査報告書

令和８年（２０２６年）３月

茅ヶ崎市

目次

第１章　調査の概要 ･･････ 1
１　調査の目的 ･･････ 1
２　調査の方法 ･･････ 1
３　回収結果 ･･････ 1
４　調査結果の見方 ･･････ 1

第２章　調査結果の詳細 ･･････ 2
１　回答者の属性 ･･････ 2
２　各設問の調査結果 ･･････ 5
（１）ジェンダー平等に関する用語の認知度 ･･････ 5
①男女共同参画社会基本法 ･･････ 5
②女性活躍推進法 ･･････ 6
③配偶者暴力防止法 ･･････ 7
④女性支援法 ･･････ 8
⑤ジェンダー平等 ･･････ 9
⑥多様性社会 ･･････ 10
⑦性的マイノリティ ･･････ 11
⑧茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画 ･･････ 12
⑨本課が実施している取組 ･･････ 13
⑩茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ ･･････ 14
（２）男女の地位の平等の考え方について ･･････ 15
（３）「男は仕事、女は家庭」という考え方について ･･････ 18
（４）一般的に女性が職業を持つことについて ･･････ 19
（５）配偶者・パートナー間における暴力の経験について ･･････ 20
（６）女性が妊娠・出産等について自ら決定することについて ･･････ 30

第３章　調査結果のまとめ ･･････ 31

資料編 ･･････ 32

第１章　調査の概要

第１章　調査の概要

１ 調査の目的

この調査は、ジェンダー平等社会に関する市民の意識を把握し、今後の茅ヶ崎市のジェンダー平等の施策に反映させるための基礎資料とすることを目的として実施しました。

２ 調査の方法

（１）調査地域：茅ヶ崎市全域

（２）調査対象：市内在住の１８歳以上の男女１，３００人

（３）抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出

（４）調査方法：郵送配布・郵送回収（封書）またはインターネット回答

（５）調査期間：令和７年１２月１日（月）から１２月３１日（水）まで（当日消印有効）

３ 回収結果

（１）配　布　数：１,３００

（２）有効回収数：６１１（封書：３４０・インターネット：２７１）

（３）有効回収率：４７．０％（＋５．７％）

４ 調査結果の見方

（１）図表中のＮは、回答者数のことです。

（２）回答は全てＮを基数とした百分率で表し、小数点第二位を四捨五入しました。このため、百分率の合計が１００％にならない場合があります。

（３）集計の結果の表やグラフでは、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合があります。

（４）前回調査比は（±％）で記載しています。

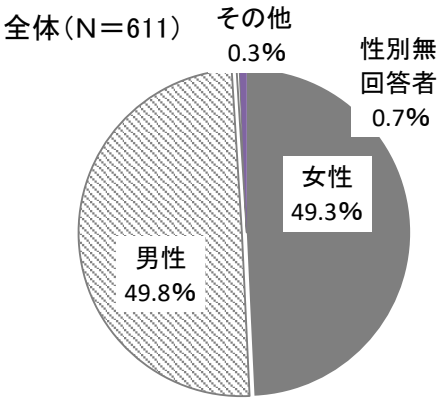
第 2 章　調査結果の詳細

第２章　調査結果の詳細

１　回答者の属性

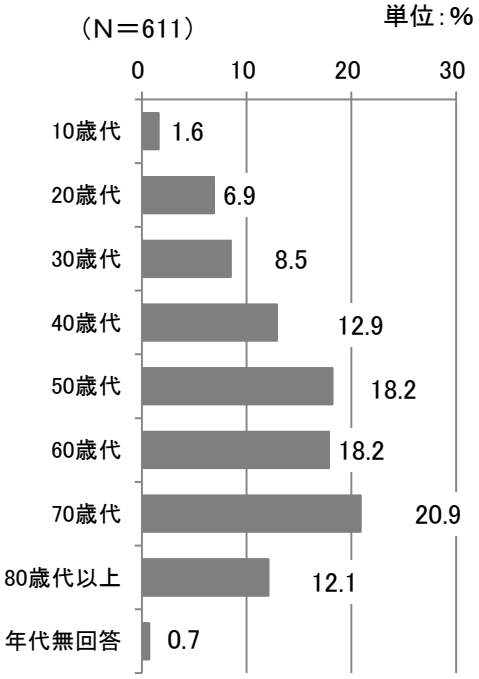
（１）性別

性別	件数	%
女性	301	49.3
男性	304	49.8
その他	2	0.3
性別無回答者	4	0.7
合計（回答者数Ｎ）	611	100



（２）年代

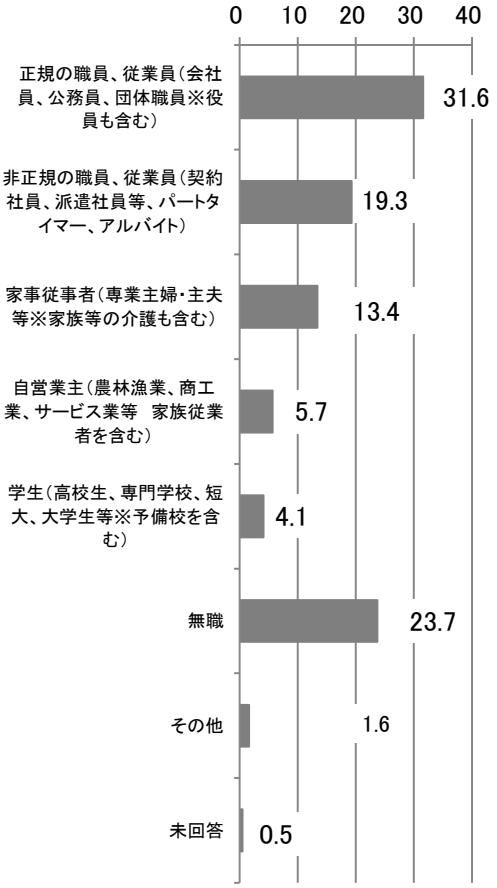
年代	件数	%
10歳代	10	1.6
20歳代	42	6.9
30歳代	52	8.5
40歳代	79	12.9
50歳代	111	18.2
60歳代	111	18.2
70歳代	128	20.9
80歳代以上	74	12.1
年代無回答	4	0.7
合計（回答者数Ｎ）	611	100.0



（３）職業

職業	件数	%
正規の職員、従業員（会社員、公務員、団体職員※役員も含む）	193	31.6
非正規の職員、従業員（契約社員、派遣社員等、パートタイマー、アルバイト）	118	19.3
家事従事者（専業主婦・主夫等※家族等の介護も含む）	82	13.4
自営業主（農林漁業、商工業、サービス業等　家族従業者を含む）	35	5.7
学生（高校生、専門学校、短大、大学生等※予備校を含む）	25	4.1
無職	145	23.7
その他	10	1.6
未回答	3	0.5
合計（回答者数Ｎ）	611	100.0

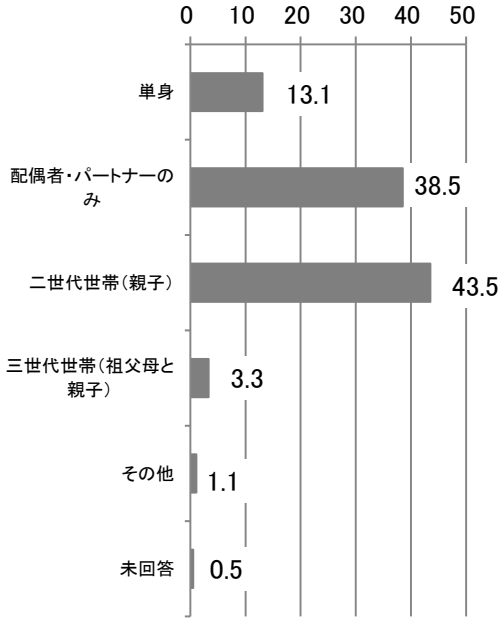
（N＝611）　単位：%



（４）家族構成

家族構成	件数	%
単身	80	13.1
配偶者・パートナーのみ	235	38.5
二世代世帯（親子）	266	43.5
三世代世帯（祖父母と親子）	20	3.3
その他	7	1.1
未回答	3	0.5
合計（回答者数Ｎ）	611	100.0

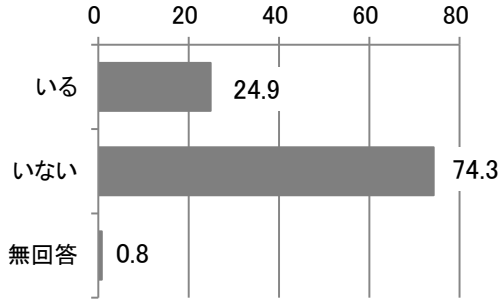
（N＝611）　単位：%



（５）子育ての状況について

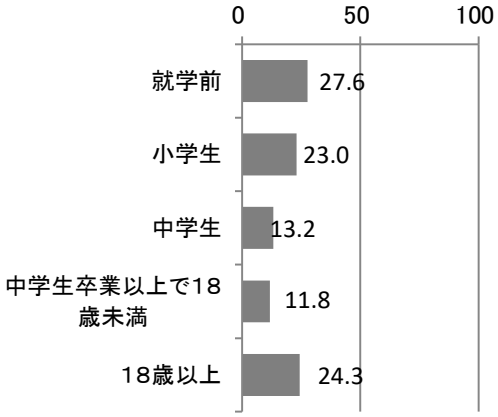
育てている子どもの有無	件数	%
いる	152	24.9
いない	454	74.3
無回答	5	0.8
合計（回答者数Ｎ）	611	100

（Ｎ＝611）



年齢区分	件数	%
就学前	42	27.6
小学生	35	23.0
中学生	20	13.2
中学生卒業以上で１８歳未満	18	11.8
１８歳以上	37	24.3
合計	152	100

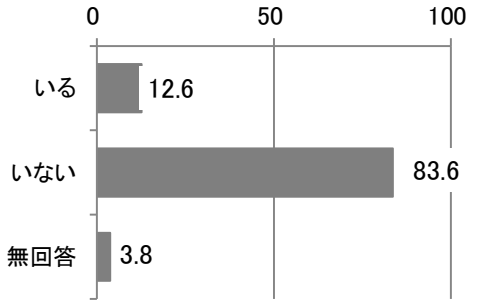
（Ｎ＝152）



（６）介護について

介護している家族の有無	件数	%
いる	77	12.6
いない	511	83.6
無回答	23	3.8
合計（回答者数Ｎ）	611	100.0

（Ｎ＝611）　単位：%



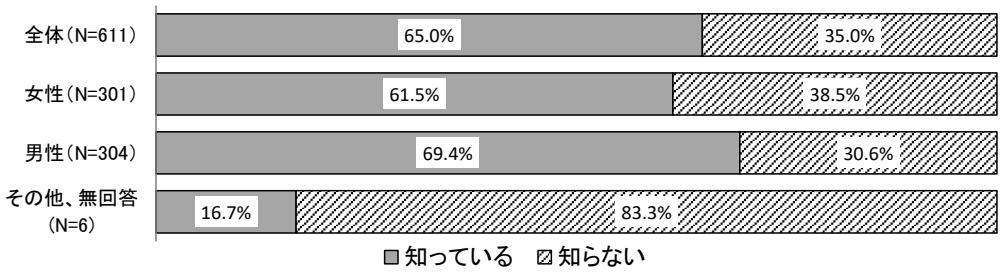
２ 各設問の調査結果

（1） ジェンダー平等に関する用語の認知度

問７　次のうち、知っている言葉や取組にすべて○をしてください。

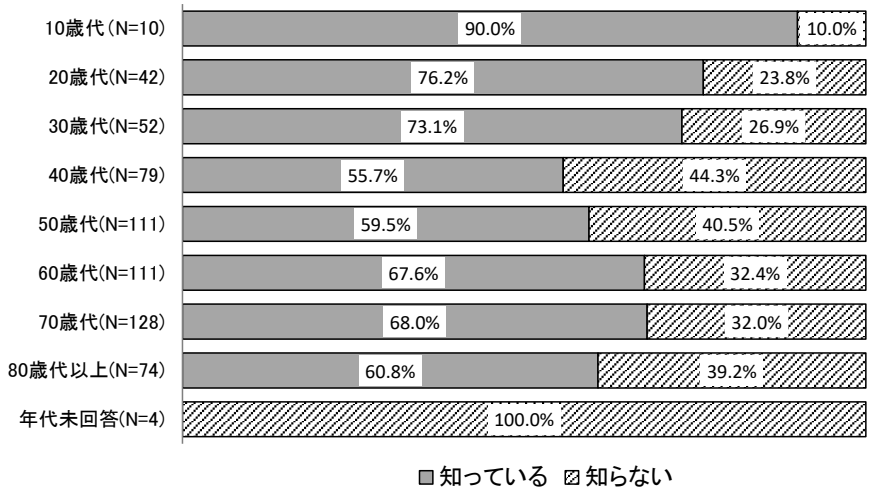
１男女共同参画社会基本法、２女性活躍推進法、３配偶者暴力防止法、４女性支援法、５ジェンダー平等、６多様性社会、７性的マイノリティ、８茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画、９本課が実施している取組、１０茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ

①男女共同参画社会基本法



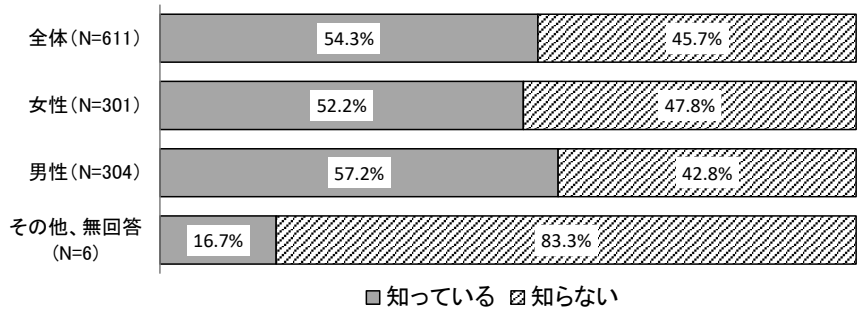
［全体の傾向］
「男女共同参画社会基本法」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合は65.0%（+0.2%）と半数を超えました。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が61.5%（+1.4%）、男性が69.4%（−2.5%）と、男性の認知度が高くなっています。



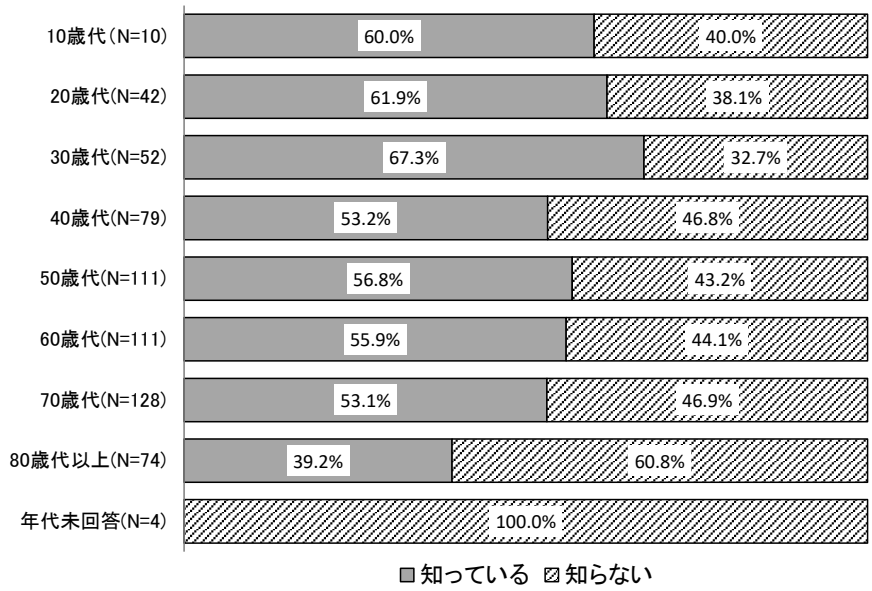
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10歳代が90.0%で最も高く、20歳代（76.2%）、70歳代（68.0%）が続きます。最も低い40歳代でも55.7%となっており、どの年代でも半数を超えています。

②女性活躍推進法



［全体の傾向］
「女性活躍推進法」については、「知っている」と回答した割合は54.3%（+4.8%）と、約半数を超えました。

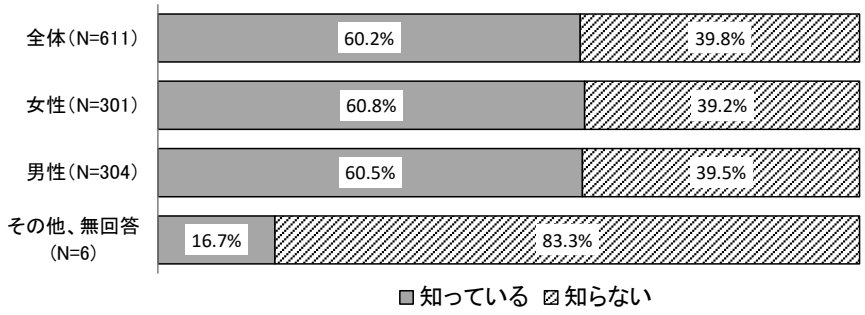
［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が52.2%（+7.1%）、男性が57.2%（+0.9%）で、男性の認知度がやや高くなっています。



［年代別の傾向］

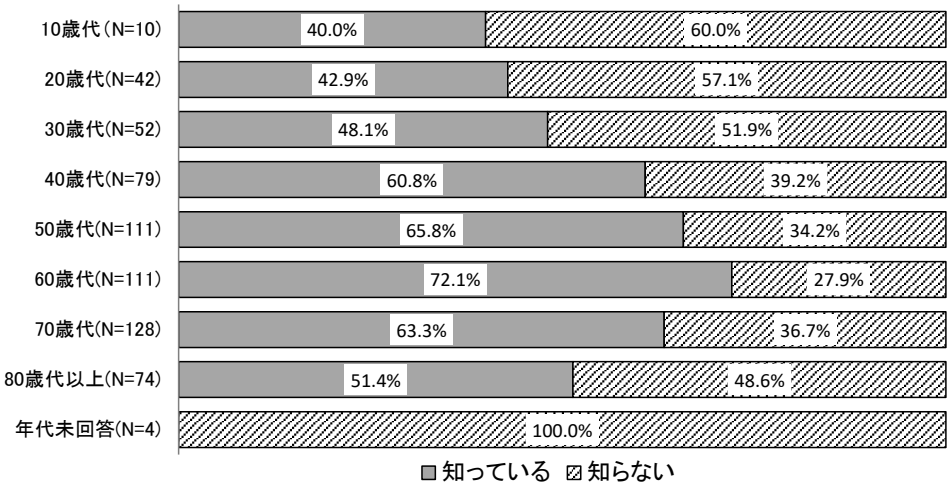
年代別で見ると、30歳代が67.3%、次いで20歳代が61.9%、10歳代が60.0%と続いておりますが、世代間での大きな差はありませんでした。

③配偶者暴力防止法



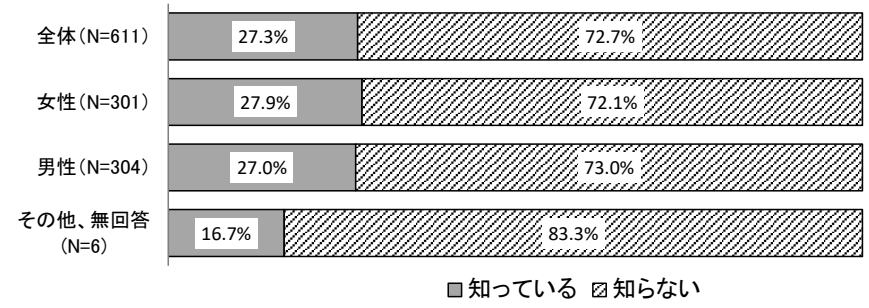
［全体の傾向］
「配偶者暴力防止法」については「知っている」と回答した割合は、60.2%（−1.4%）となり、半数を超えています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性男性ともに60%程度となっており、あまり差異はみられませんでした。



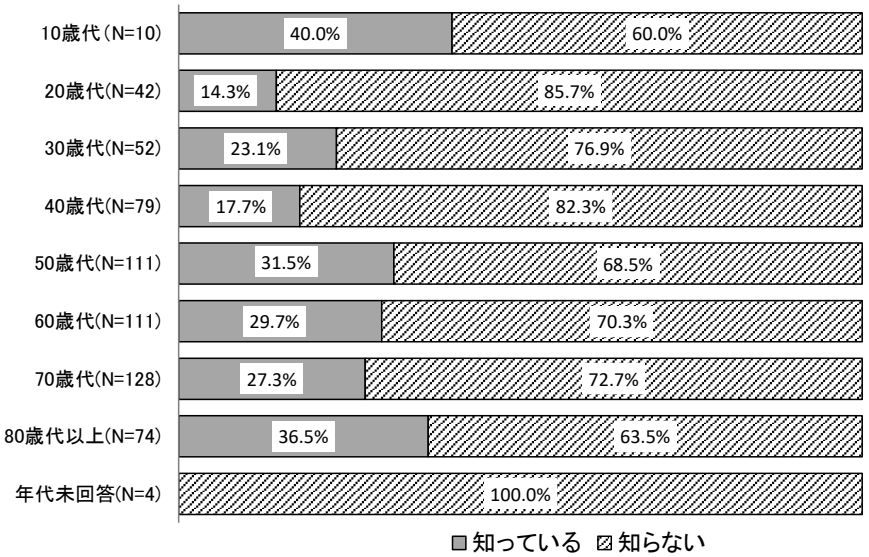
［年代別の傾向］
年代別で見ると、60歳代で72.1%で最も高く、40歳代、50歳代、70歳代は60%台、80歳代以上は51.4%、30歳代以下は40%程度の認知度となっています。

④女性支援法



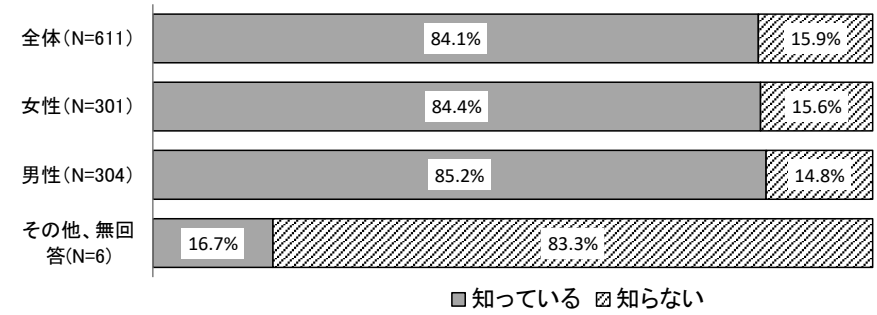
［全体の傾向］
「女性支援法」については、「知っている」と回答した割合は27.3%（+2.0%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が27.9%（+0.6%）、男性が27.0%（+3.8%）と、認知度の差異はあまり見られませんでした。



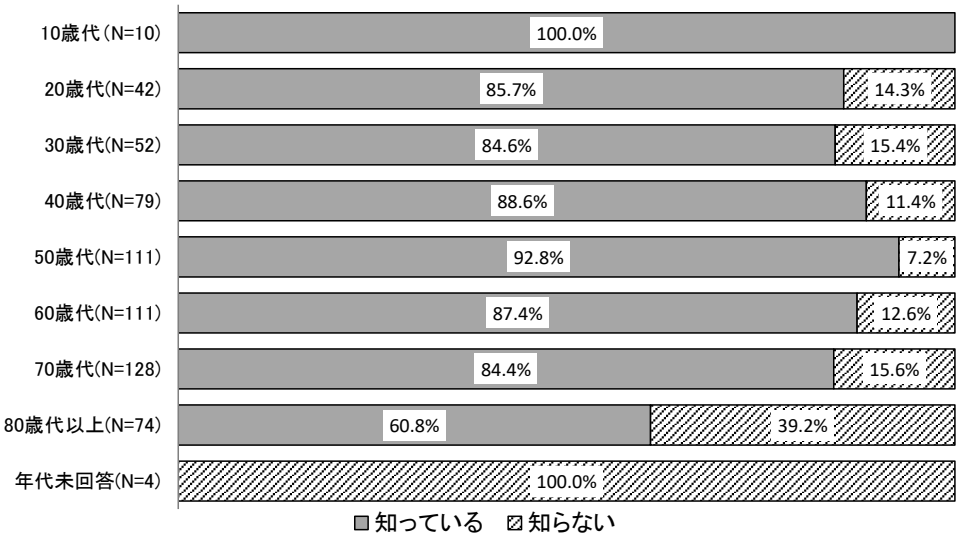
［年代別の傾向］
年代別で見ると、10歳代の認知度が最も高く40.0%、次いで80歳代以上が36.5%となっています。また、20歳代が14.3%、40歳代が17.7%、50歳代以上31.5%となっています。

⑤ジェンダー平等



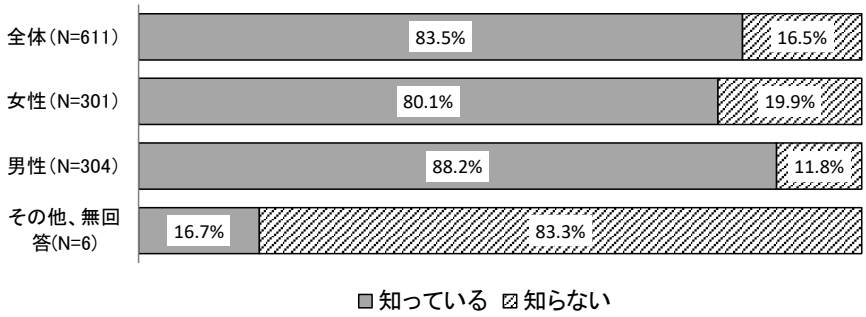
［全体の傾向］
「ジェンダー平等」の認知度については、「知っている」と回答した割合が84.1%（−1.2%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が84.4%（+1.6%）、男性が85.2%（−4.5%）で、認知度の差異はあまり見られませんでした。



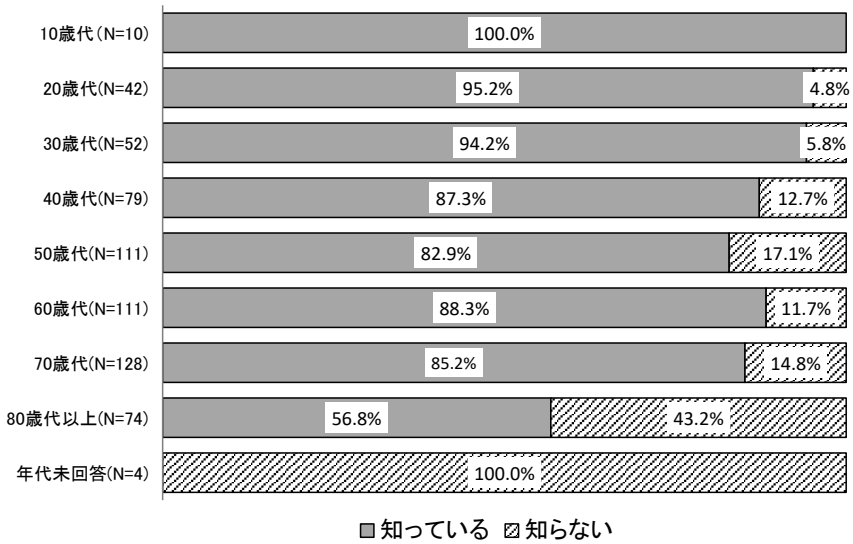
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10歳代は100%、20歳代から70歳代までは80%以上となっていますが、80歳代以上では60%程度となっています。

⑥多様性社会



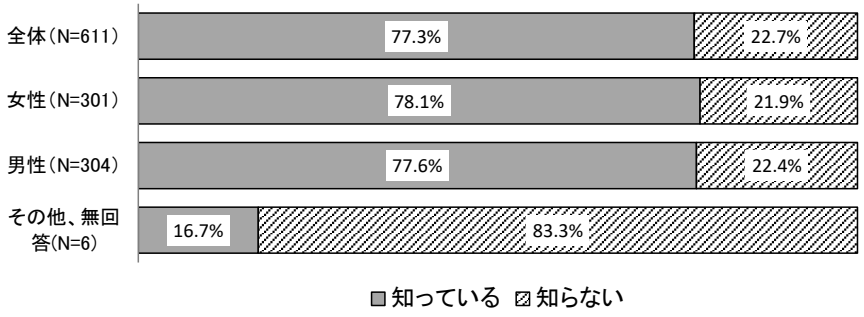
［全体の傾向］
「多様性社会」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が83.5%（3.1%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が80.1%（+1.5%）、男性が88.2%（+3.8%）で、男性の認知度がやや高くなっています。



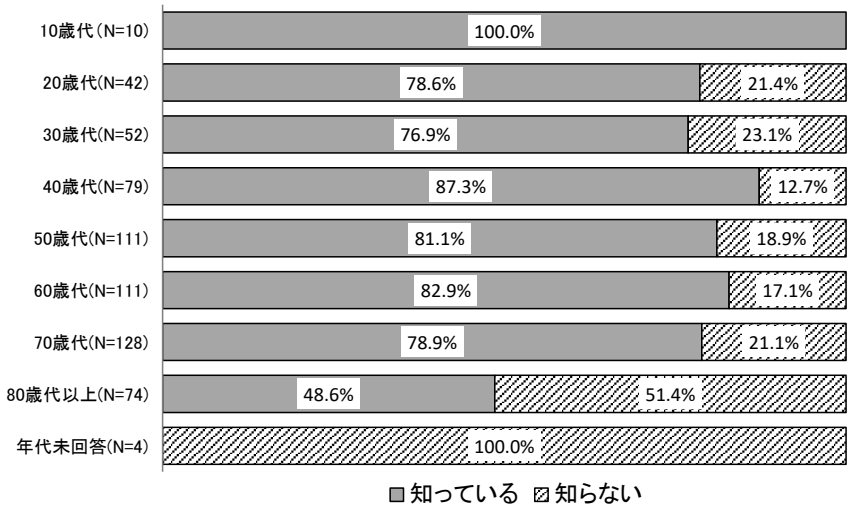
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10歳代が100%、20歳代と30歳代で90%以上、40歳代から70歳代までは80%を超えていますが、80歳代以上では56.8%となっています。

⑦性的マイノリティ



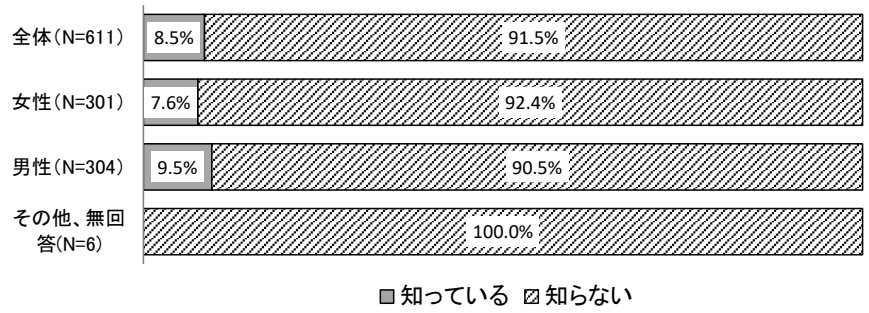
［全体の傾向］
「性的マイノリティ」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が77.3%（−0.5%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が78.1%（+1.8%）、男性が77.6%（+3.2%）で、大きな差異はありませんでした。



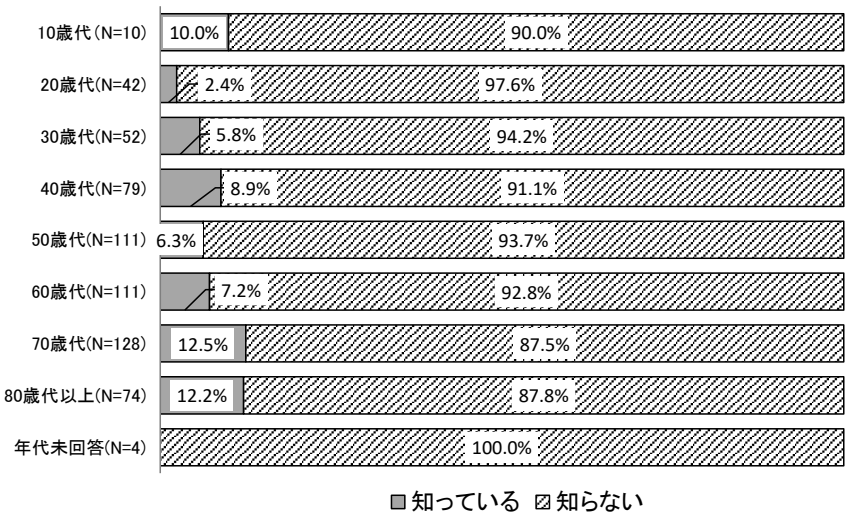
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10歳代が100%と最も高く、40歳代が87.3%、60歳代が82.9%と続きますが、80歳代以上の認知度が48.6%と低くなっています。

⑧茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画



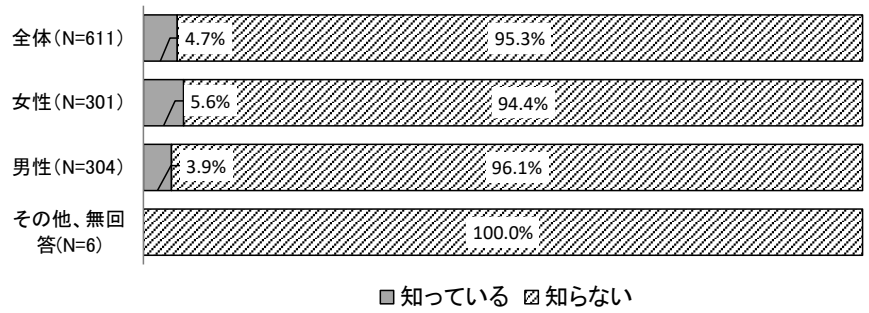
［全体の傾向］
「茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が8.5%（−0.1%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が7.6%（−0.8%）、男性が9.5%（+1.0%）となっており、大きな差異はありませんでした。



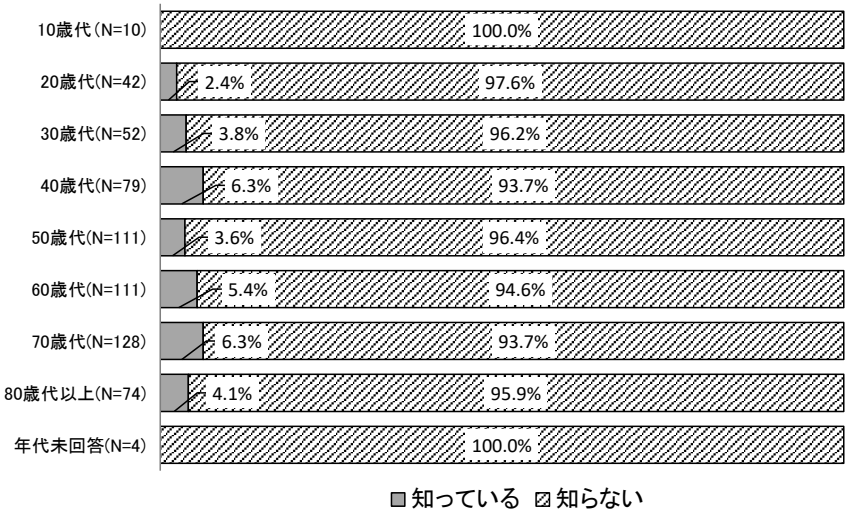
［年代別の傾向］
年代別に見ると70歳代の認知度が最も高く12.5%、80歳代以上が12.2%、10歳代が10.0%となっています。20歳代と30歳代の認知度が6%を下回るため、計画の普及啓発が必要です。

⑨本課が実施している取組



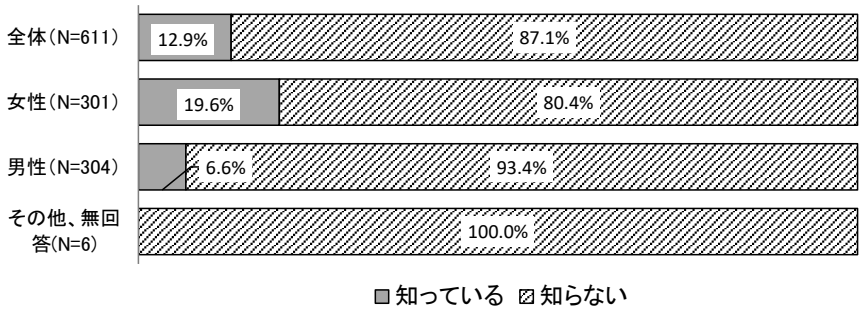
［全体の傾向］
「本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組」については、「知っている」と回答した割合が4.7%（+1.2%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が5.6%（+0.7%）、男性が3.9%（+2.1%）となっています。



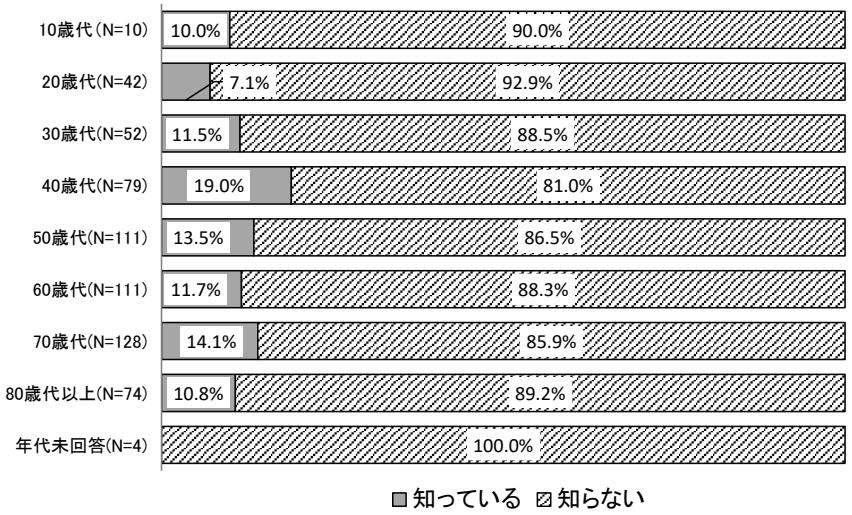
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、最も高い40歳代と70歳代でも6.3%にとどまり、10歳代に至っては0%となっています。茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画に基づく取組の実施を通じて普及啓発を行う必要があります。

⑩茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ



［全体の傾向］
「茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が12.9%（+1.5%）となっています。

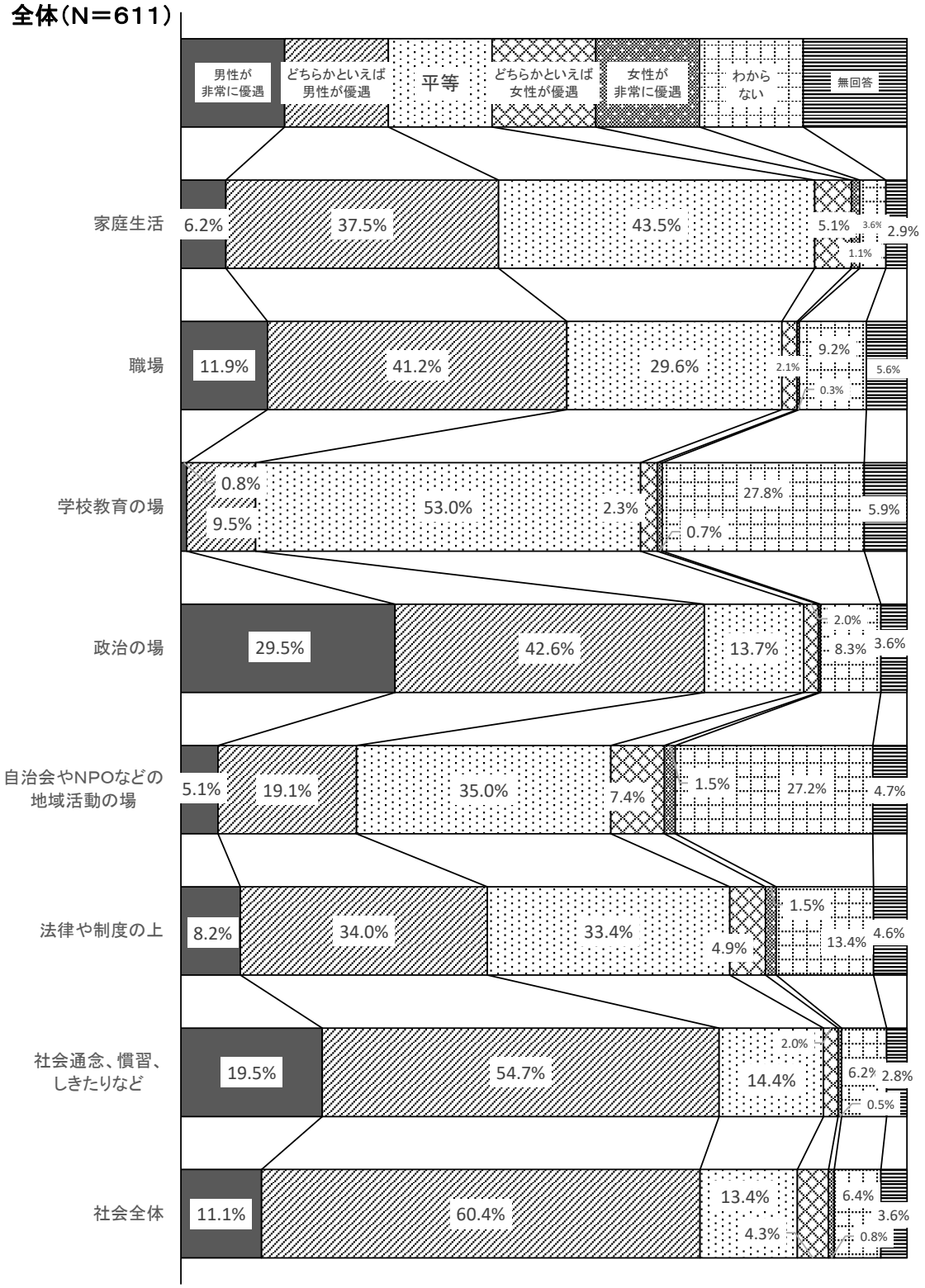
［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が19.6%（+4.3%）、男性が6.6%（+0.8%）となっています。



［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、40歳代が19.0%と最も高く、70歳代が14.1%、50歳代が13.5%と続いています。

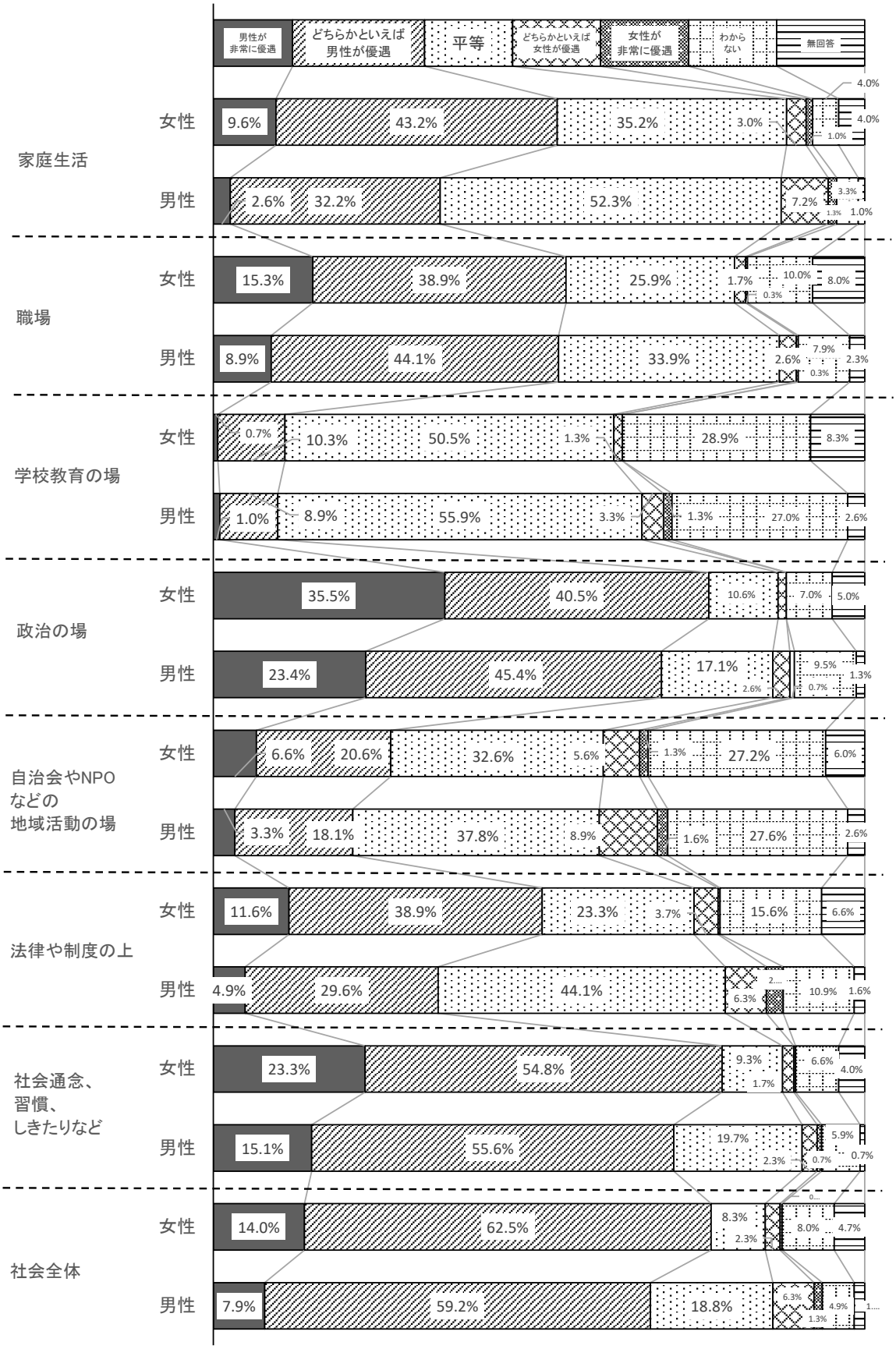
（2） 男女の地位の平等の考え方について

問８　あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。



［全体の傾向］

男女の地位について「平等」と回答した割合が最も高いのは学校教育の場で53.0%（+3.1%）となっています。また、前回調査と比較してすべての分野において、平等と回答している割合が上昇しており、家庭生活43.5%（+6.4%）、社会通念、慣習、しきたりなど14.4%（+3.8%）、政治の場13.7%（+3.5%）となっています。



［男女別の傾向］

学校教育の場において平等と考える男女別の割合は、女性50.5%（+5.4%）、男性55.9%（−1.2%）となっており、男女に大きな差分は見られません。一方で、法律や制度の上で平等と考える男女別の割合は女性23.3%（+3.2%）男性44.1%（−0.5%）であり、20.8%の差分がある。その次に男女の差分が大きいのが家庭生活であり、女性35.2%（+5.7%）男性52.3%（+0.1%）であり、差分は17.1%となっています。その他の分野における平等と考える回答の割合の男女別の差分は10%程度以下でありました。

[年代別の傾向]

① 家庭生活	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10歳代	0.0%	30.0%	40.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%
20歳代	4.8%	28.6%	47.6%	9.5%	2.4%	7.1%	0.0%
30歳代	7.7%	19.2%	61.5%	5.8%	1.9%	3.8%	0.0%
40歳代	10.1%	32.9%	44.3%	5.1%	3.8%	3.8%	0.0%
50歳代	5.4%	40.5%	45.0%	5.4%	0.9%	2.7%	0.0%
60歳代	8.1%	48.6%	35.1%	5.4%	0.0%	1.8%	0.9%
70歳代	3.9%	42.2%	42.2%	3.9%	0.0%	0.8%	7.0%
80歳代以上	4.1%	33.8%	43.2%	2.7%	0.0%	9.5%	6.8%
無回答	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%

② 職場	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10歳代	10.0%	60.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
20歳代	11.9%	35.7%	35.7%	4.8%	4.8%	7.1%	0.0%
30歳代	9.6%	36.5%	44.2%	5.8%	0.0%	3.8%	0.0%
40歳代	10.1%	32.9%	45.6%	2.5%	0.0%	6.3%	2.5%
50歳代	15.3%	45.0%	30.6%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%
60歳代	18.0%	40.5%	36.0%	0.9%	0.0%	3.6%	0.9%
70歳代	7.8%	53.1%	17.2%	0.0%	0.0%	10.2%	11.7%
80歳代以上	9.5%	31.1%	13.5%	0.0%	0.0%	28.4%	17.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%

③ 学校教育の場	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10歳代	0.0%	10.0%	80.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
20歳代	0.0%	21.4%	54.8%	7.1%	4.8%	11.9%	0.0%
30歳代	3.8%	5.8%	53.8%	5.8%	0.0%	30.8%	0.0%
40歳代	0.0%	7.6%	60.8%	1.3%	2.5%	26.6%	1.3%
50歳代	0.9%	10.8%	48.6%	0.9%	0.0%	37.8%	0.9%
60歳代	0.9%	9.0%	54.1%	3.6%	0.0%	31.5%	0.9%
70歳代	0.0%	10.9%	57.0%	0.8%	0.0%	19.5%	11.7%
80歳代以上	1.4%	4.1%	40.5%	1.4%	0.0%	32.4%	20.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%

④ 政治の場	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10歳代	20.0%	50.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
20歳代	28.6%	47.6%	14.3%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%
30歳代	34.6%	38.5%	9.6%	3.8%	0.0%	13.5%	0.0%
40歳代	35.4%	38.0%	12.7%	1.3%	1.3%	11.4%	0.0%
50歳代	35.1%	45.0%	9.0%	2.7%	0.9%	6.3%	0.9%
60歳代	31.5%	46.8%	14.4%	0.9%	0.0%	5.4%	0.9%
70歳代	26.6%	43.8%	14.8%	2.3%	0.0%	5.5%	7.0%
80歳代以上	9.4%	21.1%	13.3%	0.8%	0.0%	7.0%	6.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%

⑤ 自治会やNPOなどの地域活動の場	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10歳代	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	10.0%	50.0%	0.0%
20歳代	2.4%	23.8%	26.2%	4.8%	2.4%	40.5%	0.0%
30歳代	13.5%	17.3%	28.8%	7.7%	0.0%	32.7%	0.0%
40歳代	8.9%	11.4%	38.0%	8.9%	2.5%	29.1%	1.3%
50歳代	4.5%	26.1%	28.8%	6.3%	2.7%	31.5%	0.0%
60歳代	4.5%	22.5%	38.7%	8.1%	0.9%	22.5%	2.7%
70歳代	2.3%	18.8%	40.6%	8.6%	0.8%	19.5%	9.4%
80歳代以上	4.1%	14.9%	37.8%	4.1%	0.0%	25.7%	13.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%

⑥ 法律や制度の上	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10歳代	10.0%	30.0%	40.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
20歳代	9.5%	19.0%	33.3%	11.9%	7.1%	19.0%	0.0%
30歳代	9.6%	40.4%	21.2%	9.6%	1.9%	15.4%	1.9%
40歳代	2.5%	35.4%	35.4%	10.1%	2.5%	13.9%	0.0%
50歳代	10.8%	39.6%	32.4%	5.4%	0.9%	10.8%	0.0%
60歳代	9.9%	45.9%	27.9%	2.7%	0.9%	10.8%	1.8%
70歳代	8.6%	25.0%	41.4%	0.8%	0.8%	14.8%	8.6%
80歳代以上	5.4%	28.4%	36.5%	1.4%	0.0%	13.5%	14.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%

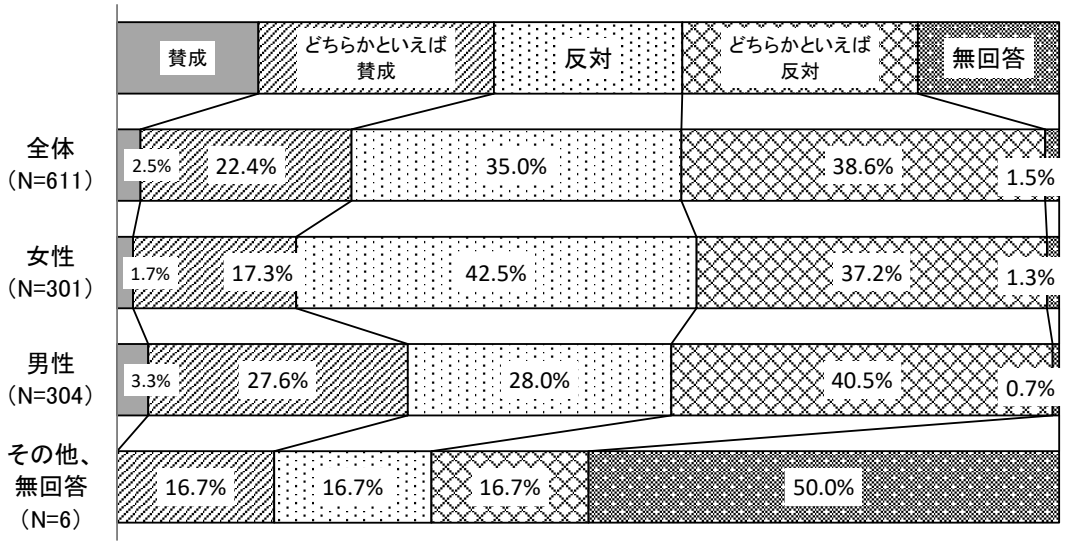
⑦ 社会通念、慣習、しきたりなど	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10歳代	10.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
20歳代	16.7%	47.6%	14.3%	4.8%	2.4%	14.3%	0.0%
30歳代	32.7%	36.5%	21.2%	1.9%	0.0%	7.7%	0.0%
40歳代	20.3%	51.9%	19.0%	2.5%	0.0%	6.3%	0.0%
50歳代	21.6%	65.8%	8.1%	1.8%	0.0%	2.7%	0.0%
60歳代	26.1%	58.6%	10.8%	1.8%	0.9%	0.9%	0.9%
70歳代	15.6%	51.6%	15.6%	0.8%	0.8%	9.4%	6.3%
80歳代以上	5.4%	59.5%	17.6%	2.7%	0.0%	8.1%	6.8%
無回答	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%

⑧ 社会全体	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10歳代	10.0%	40.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	7.1%	47.6%	19.0%	4.8%	7.1%	14.3%	0.0%
30歳代	11.5%	48.1%	19.2%	11.5%	0.0%	9.6%	0.0%
40歳代	12.7%	54.4%	19.0%	7.6%	1.3%	5.1%	0.0%
50歳代	14.4%	69.4%	9.0%	1.8%	0.0%	4.5%	0.9%
60歳代	13.5%	73.0%	7.2%	3.6%	0.9%	0.9%	0.9%
70歳代	9.4%	62.5%	14.8%	0.8%	0.0%	4.7%	7.8%
80歳代以上	6.8%	51.4%	13.5%	2.7%	0.0%	16.2%	9.5%
無回答	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%

年代別の傾向として、学校教育の場においては、すべての年代で「平等」と回答した割合が最も高く、10歳代は「どちらかと言えば男性が優遇」と「わからない」がそれぞれ10.0%、20歳代では「どちらか言えば男性が優遇」と答えた人の割合が21.4%でありました。また、自治会やNPOなどの地域活動の場については、若年層である10歳代、20歳代、30歳代はわからないと答えた方の割合が最も高くなりました。その他の項目については、概ね年代毎に大きな差分はありませんでした。

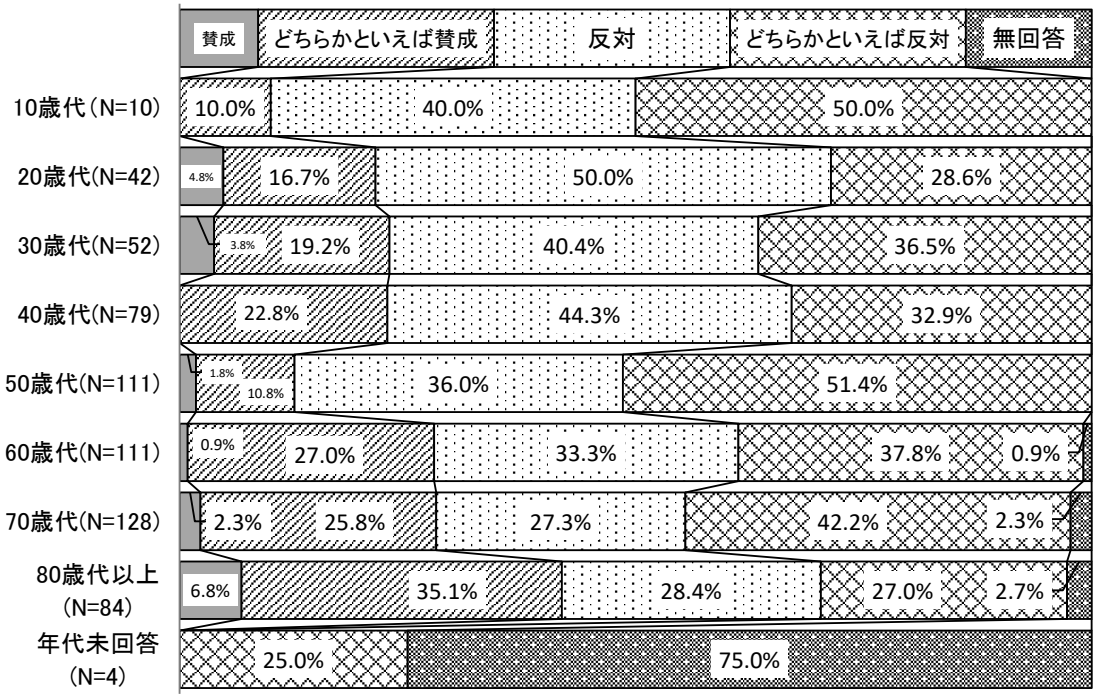
（3）「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問９　「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識について、どうお考えですか。



［全体の傾向］
固定的性別役割分担意識については、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は73.6%（−3.7%）で、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合24.9%と比較すると48.7%高くなっています。

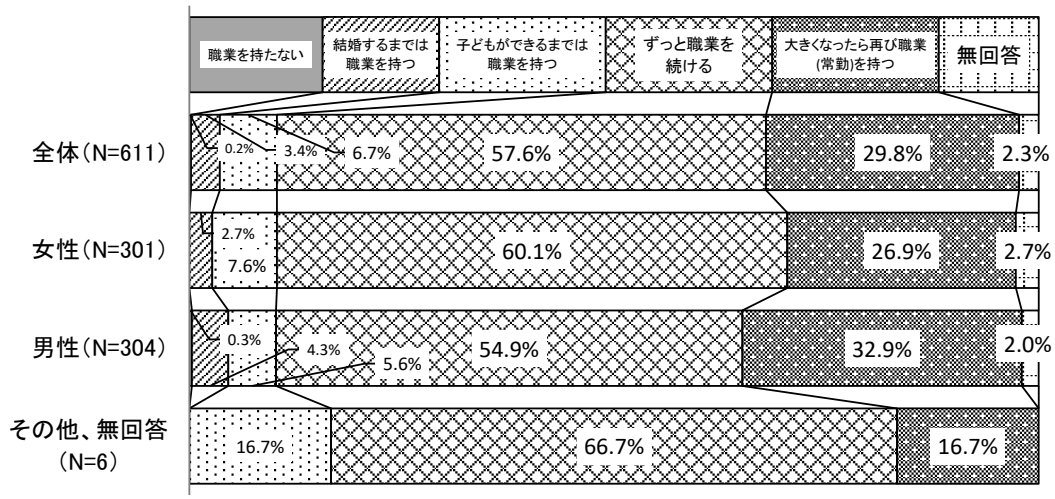
［男女別の傾向］
性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が19.0%（+2.5%）、男性が30.9%（+2.8%）で、男性が女性より11.9%高くなっています。



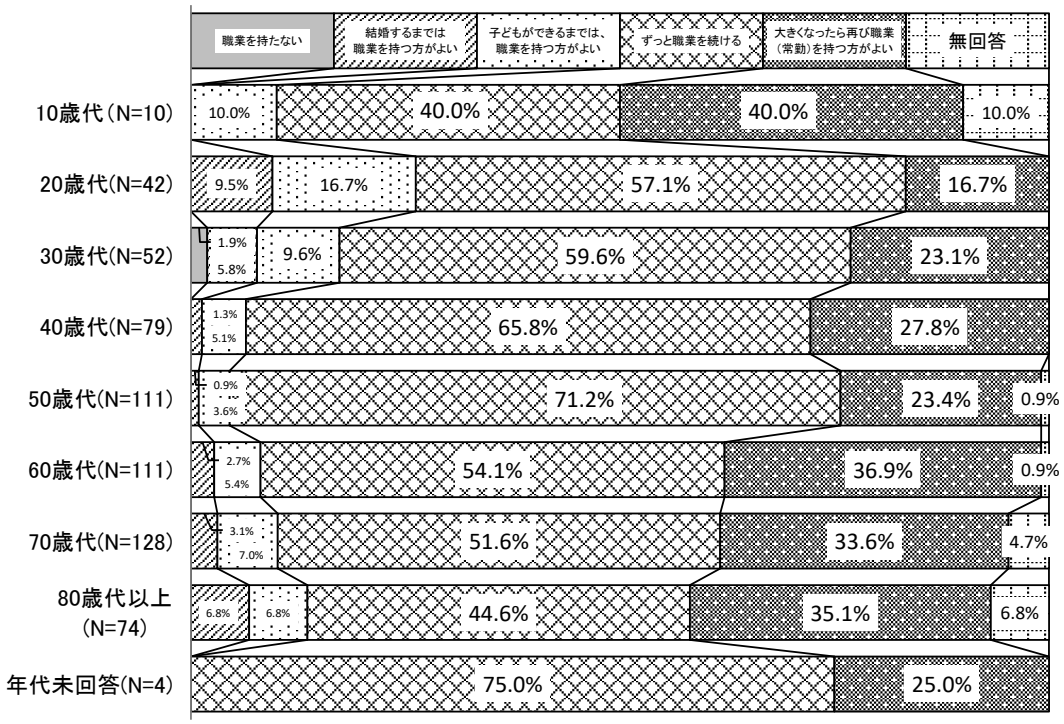
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は、10歳代が90.0%（+5.4%）と最も高く、次いで50歳代が87.4%（+3.8%）、20歳代が78.6%（−8.9%）、40歳代が77.2%（−7.8%）と続きます。

（4） 一般的に女性が職業を持つことについて

問１０　一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。



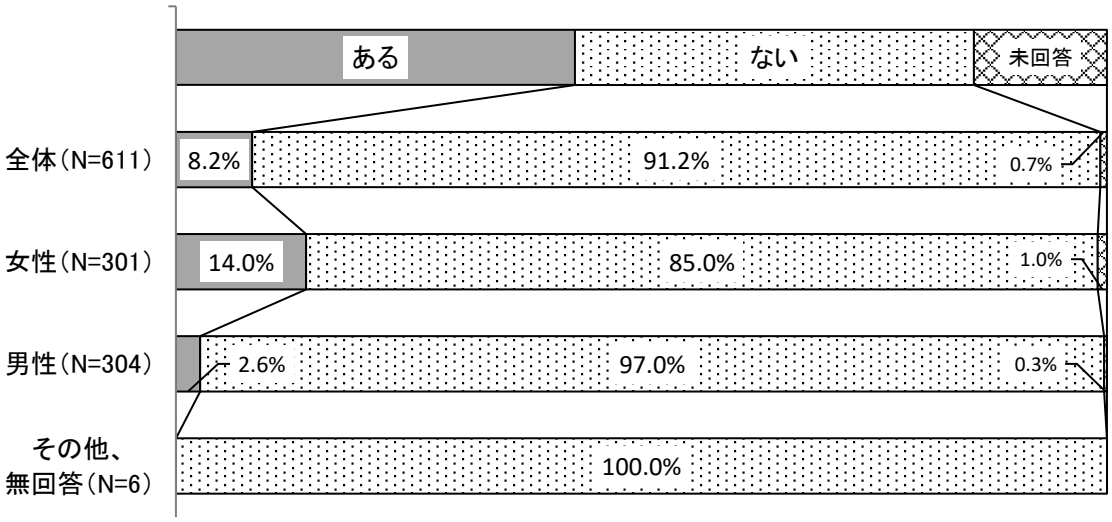
［全体の傾向］
「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が57.6%（+2.1%）で最も高く、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」29.8%（+3.0%）が続きます。
［男女別の傾向］
性別で見ると、男女共に、「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が最も多く、女性が60.1%（+4.6%）、男性が54.9%（−0.9%）で、女性の方がやや高い結果となりました。



［年代別の傾向］
年代別で見ると、「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合は、50歳代が71.2%（+4.1%）で最も高く、40歳代65.8%（+4.2%）、30歳代が59.6%（+7.7%）が続きます。また、「女性は職業を持たない方がよい」または「結婚するまでは職業を持つ方がよい」と回答した割合は、20歳代、80歳代以上を除き概ね4%以下と低くなっています。

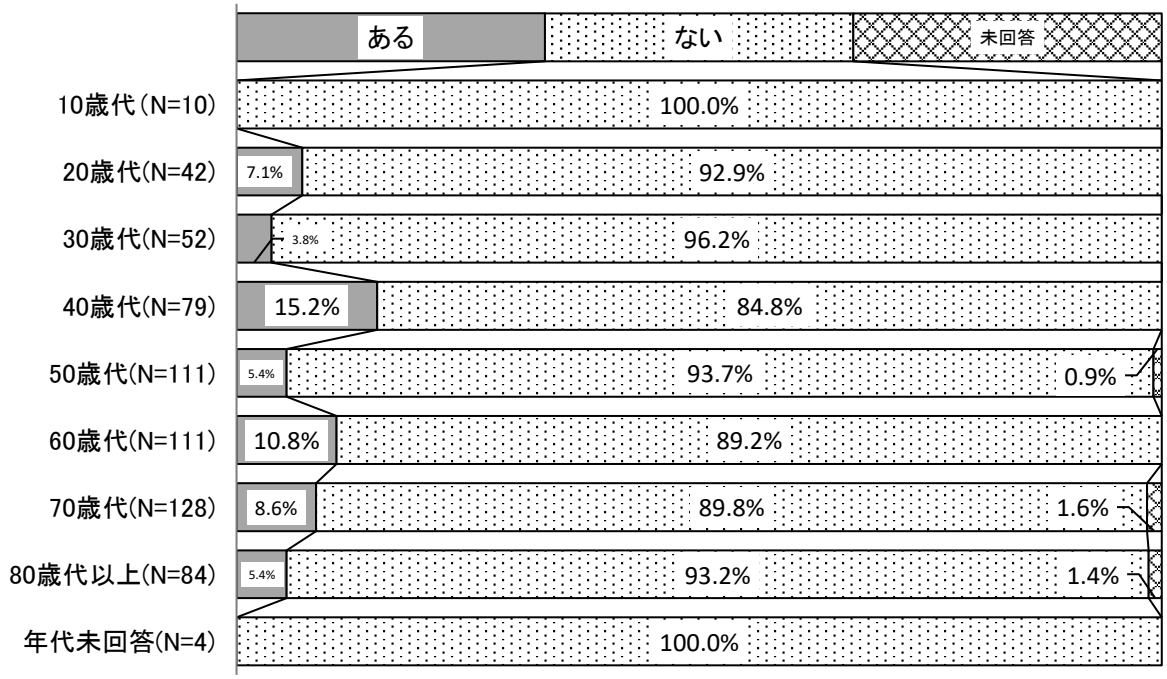
（5） 配偶者・パートナー間における暴力の経験について

問１１（１） あなたは、配偶者や恋人などパートナーから暴力を受けたことはありますか。



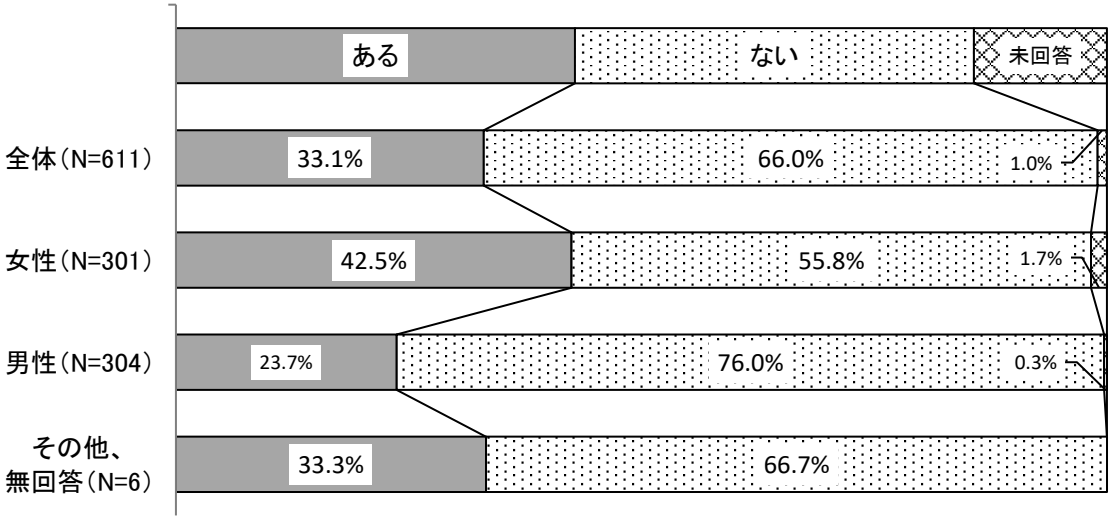
［全体の傾向］
配偶者・パートナー間で行われる暴力について、「受けたことがある」と回答した割合は8.2%（−1.7%）でした。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「暴力を受けたことがある」と回答した割合は、女性が14.0%（−0.9%）、男性は2.6%（−0.5%）と、女性が男性より高い結果となっています。



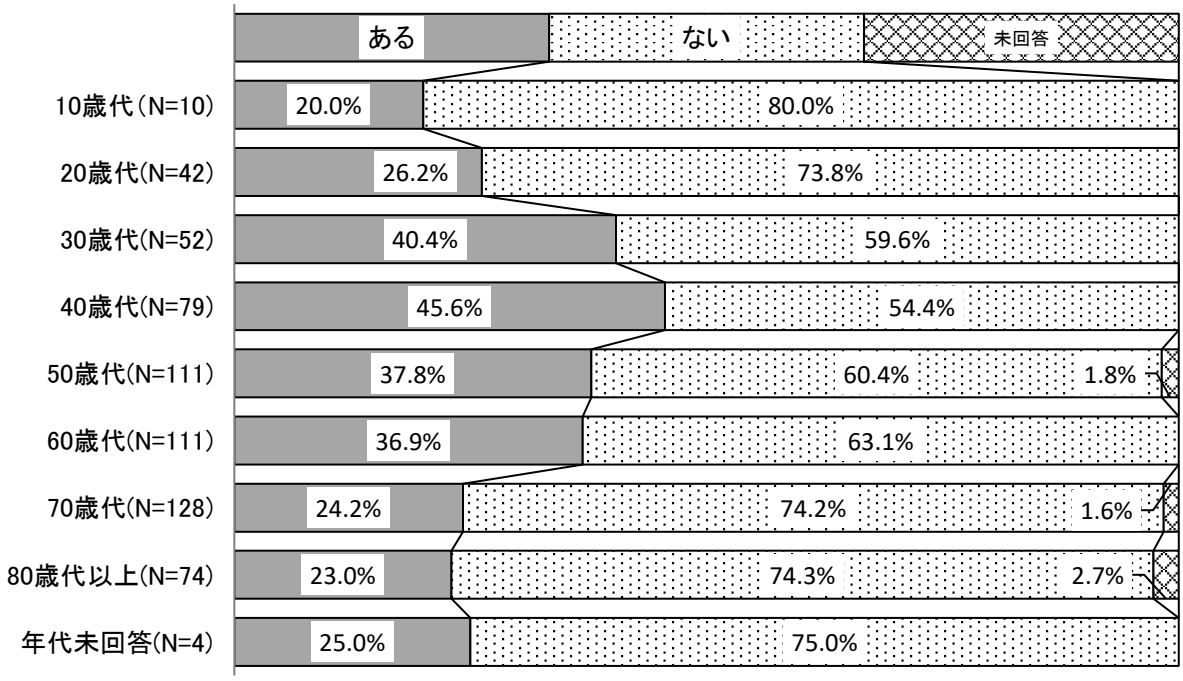
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「暴力を受けたことがある」と回答した割合は、40歳代が15.2%（−1.2%）で最も高く、60歳代が10.8%（+3.0%）、70歳代8.6%（−2.6%）と続きます。

問１１（２）　身近で見聞きした経験はありますか。



［全体の傾向］
　配偶者・パートナー間で行われる暴力について、「身近で見聞きした経験がある」と回答した割合は33.1％（−0.6％）となっています。

［男女別の傾向］
　性別で見ると、「身近で見聞きした経験がある」と回答した割合は、女性が42.5％（+3.9％）、男性は23.7％（−2.6％）と、女性が男性より高い結果となっています。

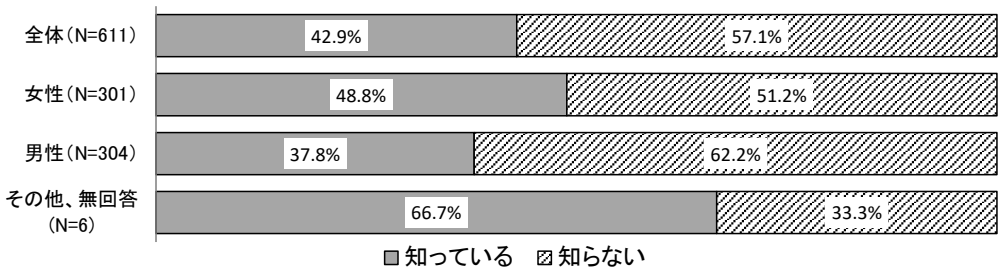


［年代別の傾向］
　年代別で見ると、「身近で見聞きした経験がある」と回答した割合は、40歳代が45.6％（−5.1％）で最も高く、30歳代が40.4％（+3.4％）、50歳代37.8％（−2.2％）と続きます。

問１２　配偶者や恋人などパートナーからの暴力被害等の相談先として知っている窓口にすべて○をしてください。

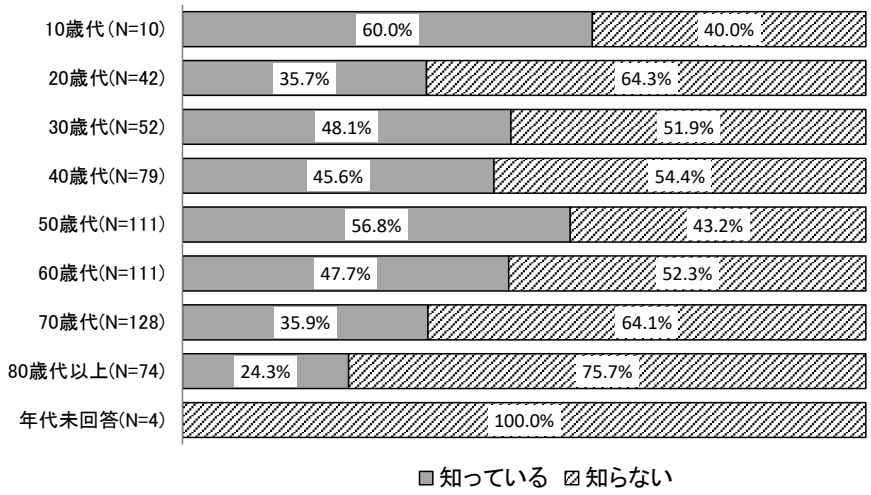
１女性の人権ホットライン（法務書）、２インターネットと人権相談受付窓口（法務書）、３警察総合相談室（警察）、４性犯罪１１０番（警察）、５女性のためのＤＶ相談（神奈川県）、６男性のためのＤＶ相談（神奈川県）、７女性のための相談室（茅ヶ崎市）、８人権相談（茅ヶ崎市）

①女性の人権ホットライン（法務省）



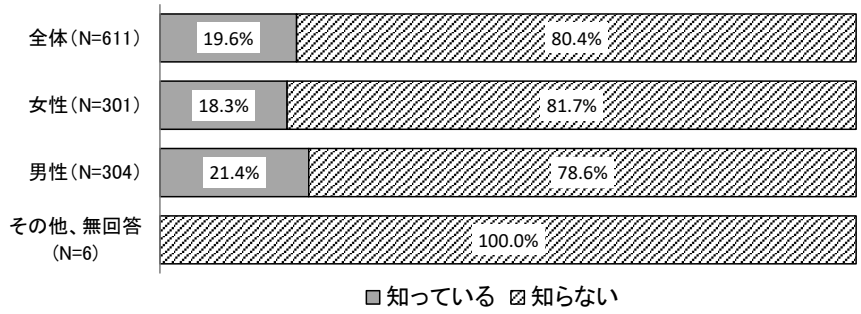
［全体の傾向］
「女性の人権ホットライン」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合は42.9%（+3.8%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が48.8%（+5.3%）、男性が37.8%（+4.8%）となっています。



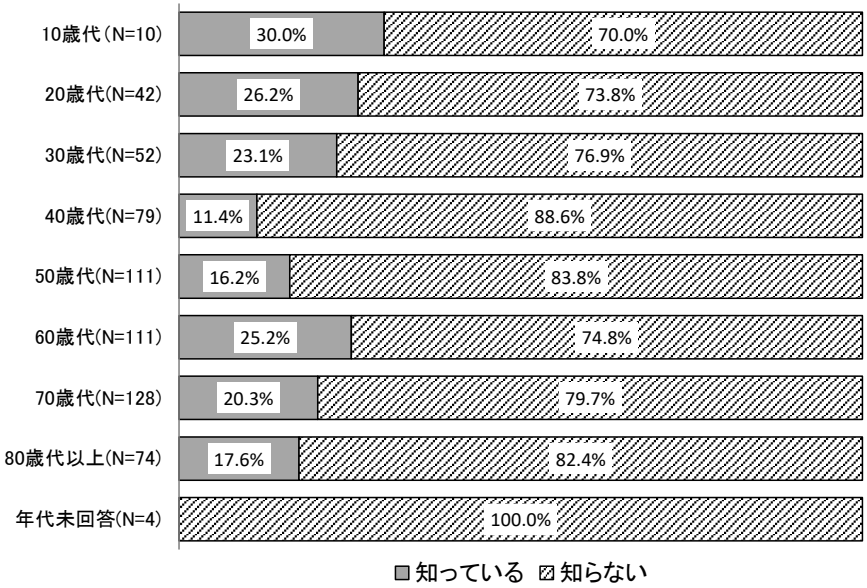
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10歳代が60.0%（+21.5%）で最も高く、50歳代が56.8%（+5.0%）、30歳代が48.1%（+12.9%）が続きます。80歳代が最も低く24.3%となっています。

②インターネット人権相談受付窓口（法務省）



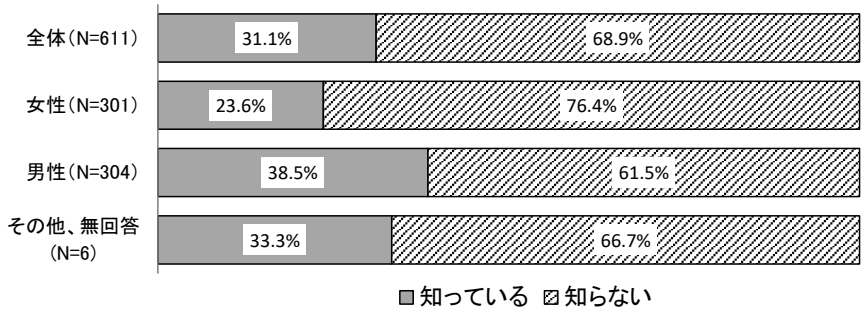
［全体の傾向］
「インターネット人権相談受付窓口（法務省）」については、認知度が低く「知っている」と回答した割合は19.6%（−0.7%）でした。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が18.3%（−1.4%）、男性が21.4%（−3.6%）となっています。



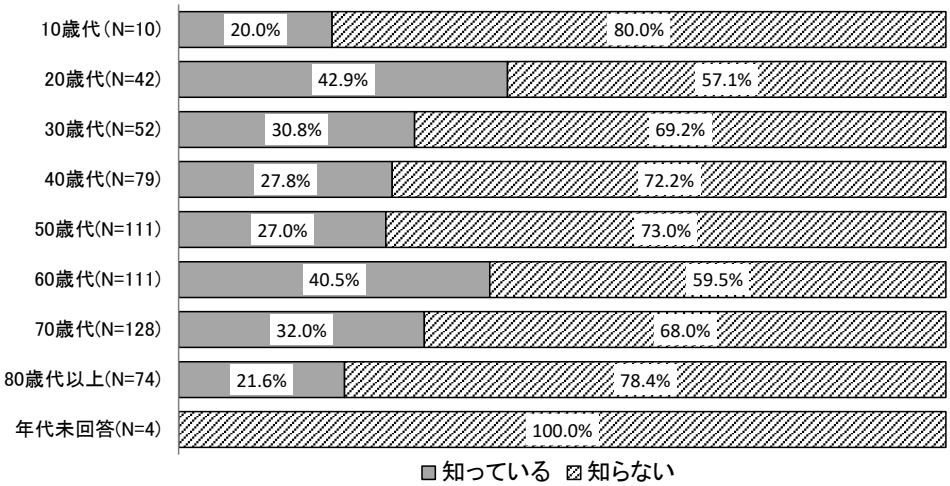
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10歳代が30.0%（+14.6%）で最も高く、20歳代26.2%（+4.3%）、60歳代が25.2%（−1.0%）が続きます。

③警察総合相談室（警察）



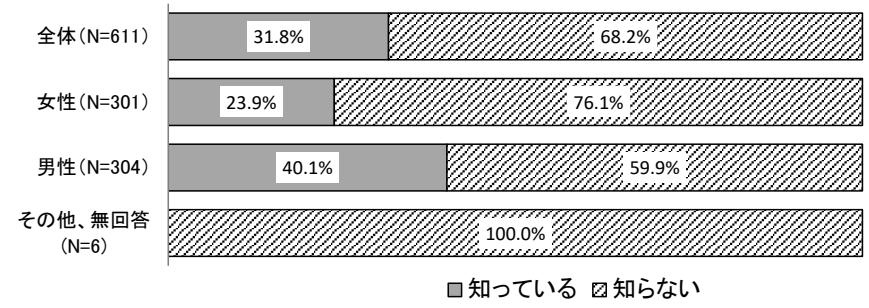
［全体の傾向］
「警察総合相談室（警察）」については、「知っている」と回答した割合は、31.1%（+4.1%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が23.6%（−0.1%）、男性が38.5%（+6.8%）となっています。



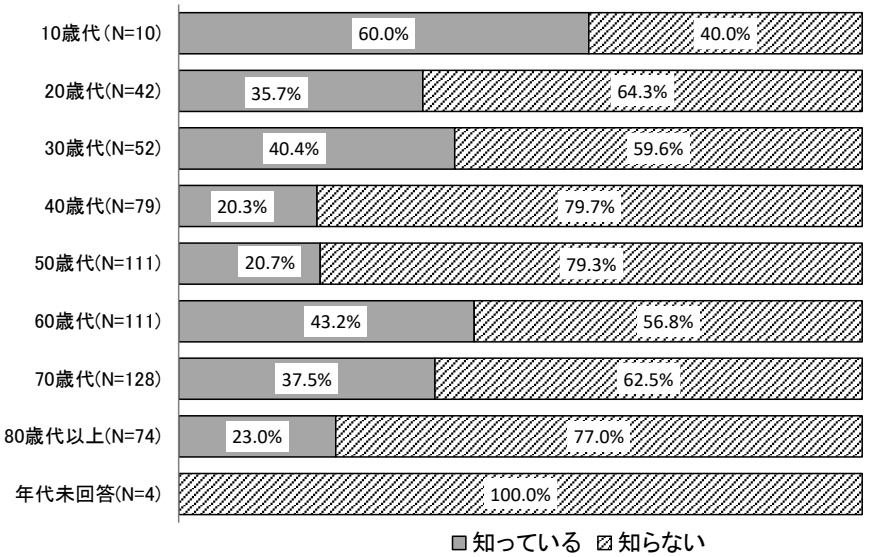
［年代別の傾向］
20歳代の認知度が42.9%（+14.8%と最も高く、次いで60歳代が40.5%（+10.4%）、その他の年代は20%から30%程度となっています。

④性犯罪110番（警察）



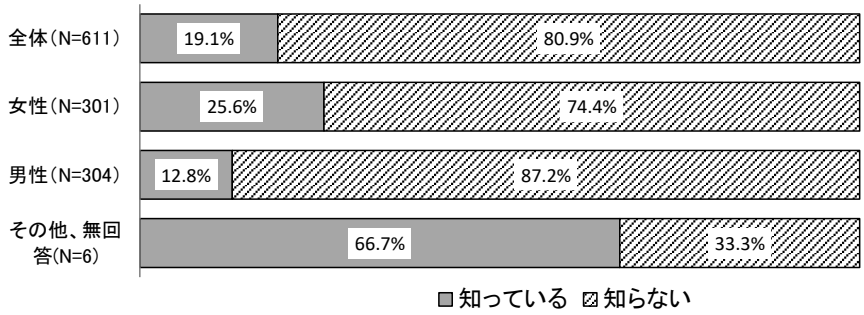
［全体の傾向］
「性犯罪110番（警察）」については、「知っている」と回答した割合は31.8%（+5.7%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が23.9%（−1.1%）、男性が40.1%（+12.9%）となっています。



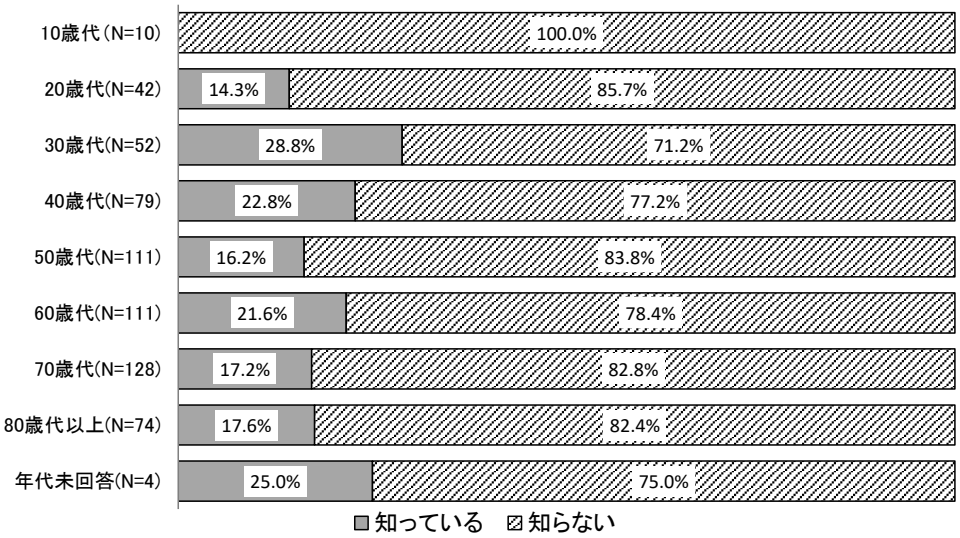
［年代別の傾向］
年代別の認知度は、10歳代が60.0%（+36.9%）と最も高く、次いで60歳代が43.2%（+15.0%）、30歳代が40.4%（+20.0%）となっています。

⑤女性のためのDV相談（神奈川県）



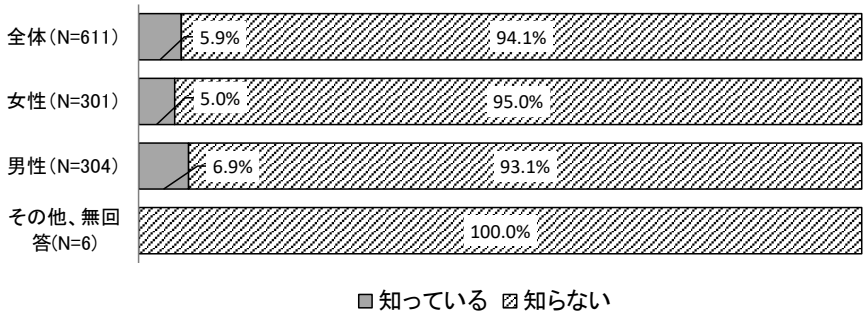
［全体の傾向］
「女性のためのDV相談（神奈川県）」を知っていると回答した割合は、19.1%（−3.8%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が25.6%（+0.3%）、男性が12.8%（−6.8%）となっています。



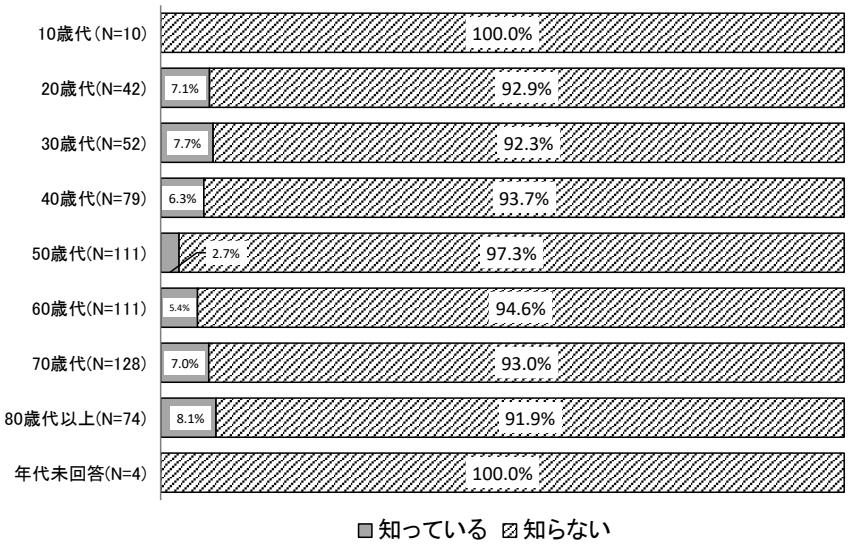
［年代別の傾向］
年代別の認知度としては、30歳代が一番高く28.8%（+8.4%）となっていますが、10歳代は0%（−7.7%）、20歳代も14.3%（+8.0%）と、若年層の認知度が低くなっています。

⑥男性のためのDV相談（神奈川県）



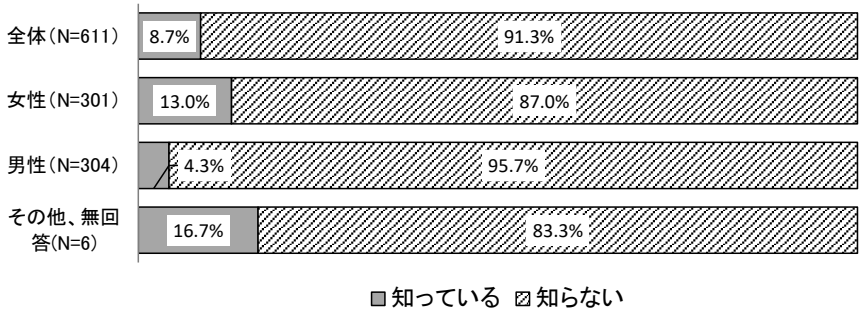
［全体の傾向］
「男性のためのDV相談（神奈川県）」の全体の認知度については、認知度が低く、「知っている」と回答した割合が5.9%（+0.5%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が5.0%（−0.2%）、男性が6.9%（+1.1%）となっています。



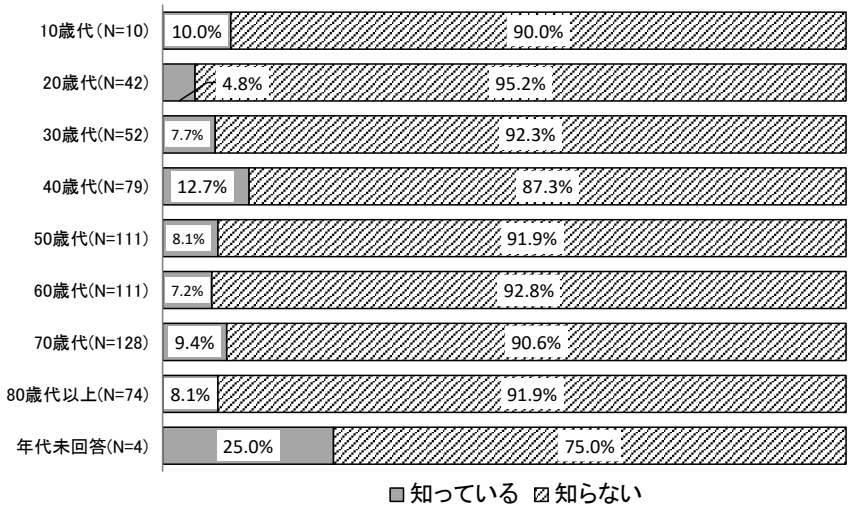
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、80歳代が最も高く8.1%（+5.7%）となっており、20歳代以上に大きな差はありませんでしたが、10歳代の認知度が0%となっています。

⑦女性のための相談室（茅ヶ崎市）



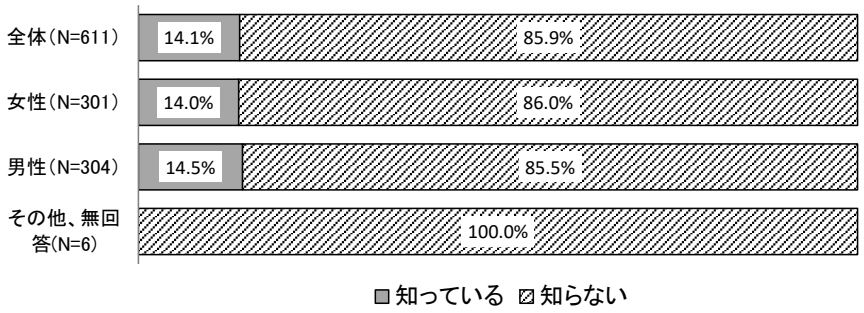
［全体の傾向］
「女性のための相談室（茅ヶ崎市）」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が8.7%（−2.1%）となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が13.0%（−1.0%）、男性が4.3%（−2.0%）となっております。



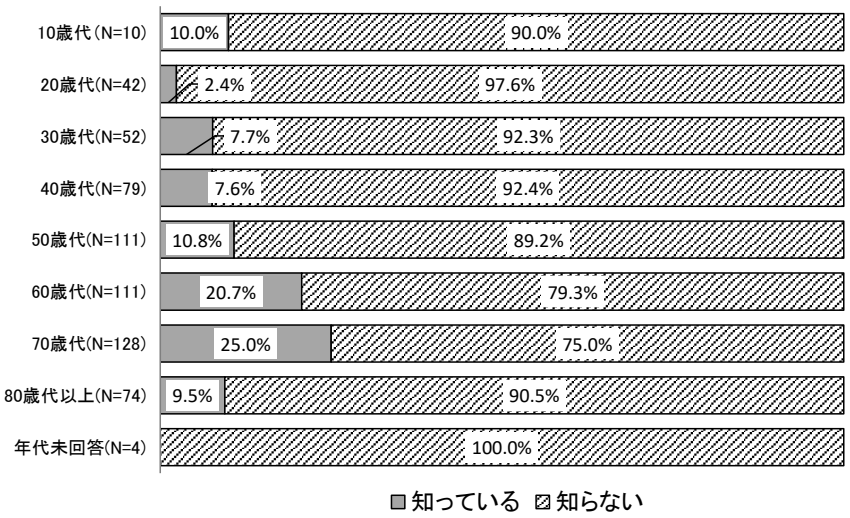
［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、40歳代が12.7%（+1.7%）と最も高く、次いで10歳代が10.0%（+10%）、70歳代が9.4%（−7.5%）、50歳代と80歳代以上がともに8.1%（+2.2%，−6.2%）となっています。

⑧人権相談（茅ヶ崎市）



［全体の傾向］
「人権相談（茅ヶ崎市）」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が14.1%（+1.8%）となっています。

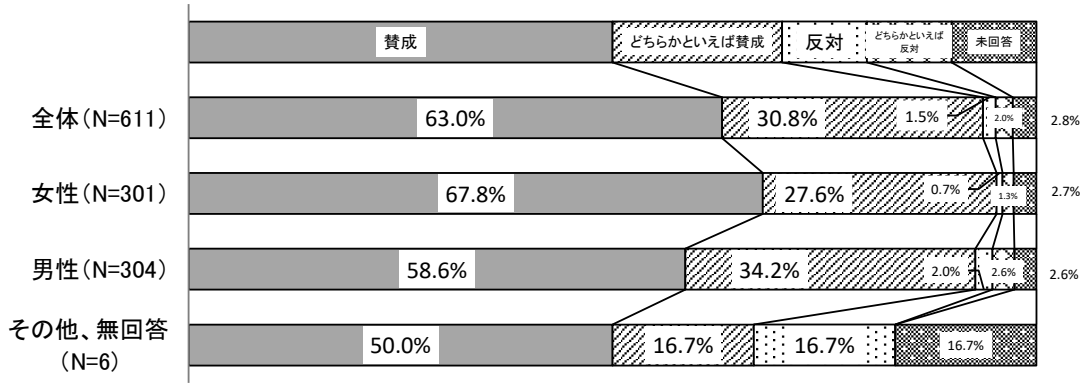
［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が14.0%（+2.0%）、男性が14.5%（+2.0%）で、性別による差はあまり見られません。



［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、70歳代が25.0%（+10.4%）と最も高く、次いで60歳代が20.7%（+2.3%）となっていますが、それ以外の年代の認知度は概ね10%以下となっています。

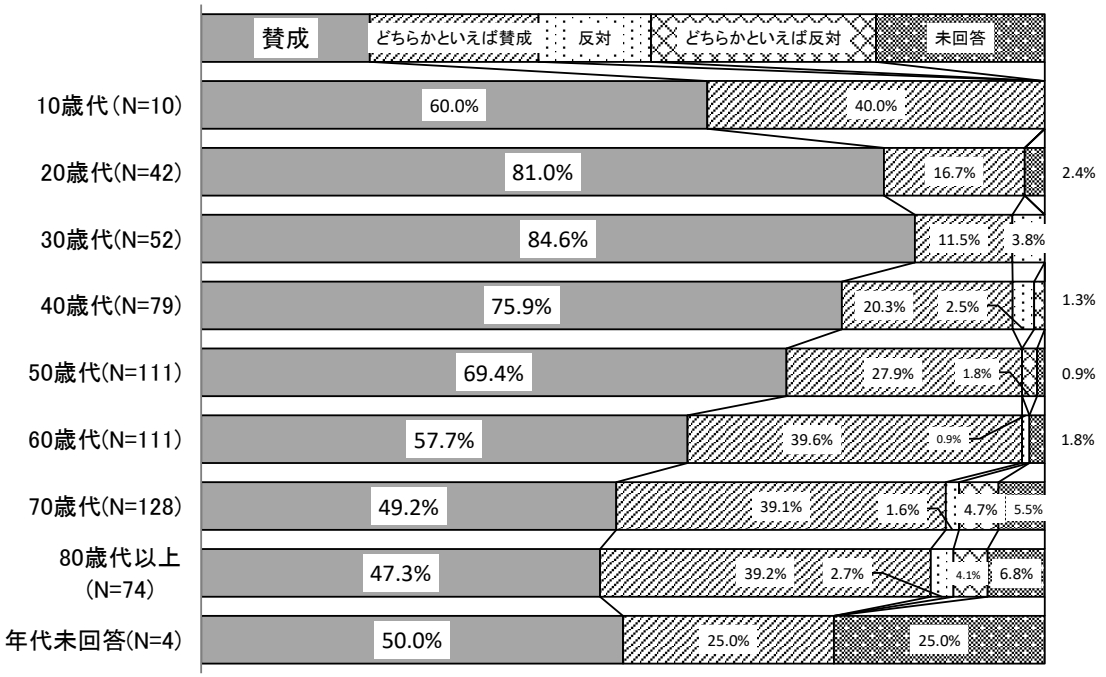
（6） 女性が妊娠・出産等について自ら決定することについて

問１３　妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を、女性が有するという考え方について、どうお考えですか。



［全体の傾向］
妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を女性が有するという考え方については、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合が93.8%（+0.5%）と、全体の9割強を占めています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が95.4%（+0.9%）、男性が92.8%（+1.3%）で、性別による差異はあまり見られません。



［年代別の傾向］
年代別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、10歳代が100%（±0%）と最も高く、次いで20歳代が97.7%（−2.3%）、50歳代と60歳代がともに97.3%（+0.9%，+3.2%）、他の年代も概ね80%後半から90%台で推移しています。

第３章　調査結果のまとめ

第３章　調査結果のまとめ

１ ジェンダー平等に関する用語の認知度について

●「男女共同参画社会基本法」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が65.0%（前回調査64.8%）、「女性活躍推進法」の認知度は54.3%（前回調査49.5%）、「配偶者暴力防止法」の認知度は60.2%（前回調査61.6%）、「女性支援法」の認知度は27.3%（前回調査25.3%）、「ジェンダー平等」の認知度は84.1%（前回調査85.3%）など、多くの項目で前回調査と同等の数値となりました。また、「茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画」の認知度は8.5%（前回調査8.6%）と、依然認知度は低く、「本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組」の認知度はわずか4.7%（前回調査3.5%）にとどまっています。茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画と、これに基づく取組の普及啓発に一層努力する必要があります。【問7】

２ 男女の地位の平等について

●男女の地位の平等については、「学校教育の場」では「平等」と回答した割合が53.0%（前回調査49.9%）となっている一方、多くの場面で男性の方が優遇されていると感じている割合が高い傾向にあります。「政治の場における男女の地位の平等」については、「男性の方が優遇されている」と回答した割合は72.1%（前回調査76.3%）と若干数値が下がりましたが、男女の不平等感は根強く残っています。【問8】

●「男は仕事、女は家庭という固定的性別役割分担意識」については、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は73.6%（前回調査77.3%）と、否定的に考える人が多くなっています。一方、性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が19.0%（前回調査16.5%）、男性が30.9%（前回調査28.1%）で、男性が女性より11.9ポイント高くなっています。【問9】

３ 女性の活躍推進について

●一般的に女性が職業を持つことについて、「子どもができても、ずっと職業を続けるほうがよい」とする就業継続を支持する回答の割合が57.6%（前回調査55.5%）で最も高く、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」29.8%（前回調査32.8%）が続きます。性別で見ると、就業継続を支持する回答の割合は、女性が60.1%（前回調査55.5%）、男性が54.9%（前回調査55.8%）となっており、女性の方がやや高い結果となりました。【問10】

４ 配偶者暴力と女性の有する権利について

●「配偶者や恋人などのパートナーから暴力を受けたことがあるか」については、全体で8.2%（前回調査9.9%）、女性は14.0%（前回調査14.9%）、男性は2.6%（前回調査3.1%）が「ある」と回答しており、女性の割合が高くなっています。【問11】

●「妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を、女性が有するという考え方」については、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合が93.8%（前回調査93.3%）となりました。さらに、性別による差がほとんどなく、一般的な考え方として広く市民に定着していると考えられます。【問13】

資　料　編

ジェンダー平等社会に関する
アンケート調査のお願い

あなたの 5 分 が

性別に関わりなく、互いに協力し合う茅ヶ崎市を創ります！

※回答に要する時間は5分程度です。

アンケート対象者

本アンケート調査は個人を対象としていますので、ご本人が直接回答するか、ご家族の方などにご協力をいただき回答してください。

かんたん・便利なインターネットでのご回答をお願いします。

回答は12月31日（水）まで

※郵送回答の場合は締切日当日の消印有効です。
（同封の返信用封筒をご利用ください。）

お問い合わせ

調査についてご不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

担当課　茅ヶ崎市　文化スポーツ部　多様性社会推進課
電　話　0467−81−7150（直通）
メール tayousei@city.chigasaki.kanagawa.jp

（本調査について）
本アンケート調査は、ジェンダー平等社会に関する市民の意識を把握することを目的としており、いただいた御意見は、市の施策を検討する際の基礎資料として活用いたしますが、この目的以外には使用することはありません。また、本調査は、18歳以上の市民を対象に、1，300人を住民基本台帳より無作為に抽出して実施しており、回答は無記名で行い、集計結果は統計的に処理するため個人が特定されることはありません。

令和７年度ジェンダー平等社会に関するアンケート　回答票

設問に対する答えは、用意されている選択肢の**番号を○で囲んでください。**

また、**１つだけ選んでいただく設問と複数選んでいただく設問がありますので、御注意ください。**

はじめに、御自身・御家族のことについてお伺いします

問１　あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

１．女性	２．男性
３．（　　）	

※　この調査では、ジェンダー平等社会に関する意識や生活の実態を把握・分析するために、性別をお伺いします。また、性別は多様であるという観点から自由記載欄を設けています。

問２　あなたの年齢を教えてください。（○は1つだけ）

１．10 代	２．20 代	３．30 代
４．40 代	５．50 代	６．60 代
７．70 代	８．80 代以上	

問３　あなたの主な職業は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

１．正規の職員、従業員（会社員、公務員、団体職員等※役員も含む）
２．非正規の職員、従業員（契約社員、派遣社員等、パートタイマー、アルバイト）
３．家事従事者（専業主婦・主夫等※家族等の介護も含む）
４．自営業主（農林漁業、商工業、サービス業等※家族従業者を含む）
５．学生（高校生、専門学校、短大、大学生等※予備校を含む）
６．無職
７．その他（　　）

問４　あなたの世帯の構成は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

１．単身	２．配偶者・パートナーのみ
３．二世代世帯（親子）	４．三世代世帯（祖父母と親子）
５．その他　（　　）	

問５　現在、あなたが育てている子はいますか。（○は１つだけ）

１．いる	２．いない

問５－１　「1．いる」と回答した方の１番下のお子さんの年齢区分をお答えください。（○は１つだけ）

１．就学前	２．小学生	３．中学生	４．中学卒業以上で１８歳未満	５．１８歳以上

問６　現在、あなたが介護している親族はいますか。（○は１つだけ）

１．いる	２．いない

問７　次のうち、聞いたことがある言葉や取組に**すべて**○をしてください。

１．男女共同参画社会基本法 （男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の総合的かつ計画的に促進することを目的とした法律）	２．女性活躍推進法 （働く意思のある女性が自分の能力を十分に発揮し、安心して働き続けられる職場環境を作るための法律）
３．配偶者暴力防止法（ＤＶ※ドメスティックバイオレンス防止法） （配偶者からのＤＶに係る通報・相談・保護・自立支援等の体制を整備し暴力の防止と被害者の保護を目的とした法律）	４．女性支援法※令和６年４月１日施行 （困難な問題を抱える女性の福祉の増進を図るため、一人ひとりのニーズに応じた支援を行い、安心して自立して暮らせる社会の実現に寄与することを目的とした法律）
５．ジェンダー平等 （誰もが、男性・女性といった性別に関わらず人権が守られ平等に機会を与えられること。多様な性を認め合うことも含む）	６．多様性社会 （性別や性的指向・性自認、年齢、国籍、障がいの有無など関わらず、互いに尊重し合い、誰もが自分らしく生きられる社会）
７．性的マイノリティ （レズビアンやゲイといった性のあり方が少数派の人々を広く表す総称※ＬＧＢＴＱ＋と表現することもある）	８．茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画 （本市のジェンダー平等、男女共同参画の形成と推進について定めた基本計画）
９．本課が実施している取組 （パートナーシップ宣誓制度、人権啓発講演会や各種講座、女性に対する暴力をなくす運動パネル展示など）	１０．茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ （男女共同参画社会の実現をめざし、市民の方々が学習し様々な活動や交流の場として利用いただくための施設）

ジェンダー平等についてお伺いします

問８　あなたは、次にあげるような分野で男女の**地位**は平等になっていると思いますか。①～⑧の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。（○は各項目に１つずつ）

	男性の地位の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の地位の方が優遇されている	地位は平等	どちらかといえば女性の地位方が優遇されている	女性の地位の方が非常に優遇されている	わからない
①家庭生活	1	2	3	4	5	6
②職場	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤自治会やPTAなどの地域活動の場	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念、慣習、しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑧社会全体	1	2	3	4	5	6

問９　「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識*について、どう思いますか。（○は1つだけ）

１．賛成	２．どちらかといえば賛成
３．どちらかといえば反対	４．反対

***固定的性別役割分担意識：**例えば「男は仕事、女は家庭」「男性は主要業務、女性は補助的な業務」というように、性別を理由として役割を固定化してしまう考え方や意識のことです。

➥裏面に続きます。

女性活躍推進についてお伺いします

問１０　一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。（○は1つだけ）

１．女性は職業を持たない方がよい	２．結婚するまでは職業を持つ方がよい
３．子どもができるまでは職業を持つ方がよい	４．子どもができてもずっと職業を続ける方がよい
５．子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい	

人権についてお伺いします

問１１　あなたは、配偶者や恋人などパートナーからＤＶを受けたことはありますか。また、身近で見聞きした経験はありますか。

※　ＤＶには身体的暴力以外にも、モラハラ等の精神（心理）的、経済的、社会的、性的暴力等すべて含みます。

（１）パートナーからＤＶを受けた経験はありますか。（○は1つだけ）

１．ある	２．ない

（２）身近で見聞きした経験はありますか。（○は1つだけ）

１．ある	２．ない

問１２　あなたは、配偶者や恋人などパートナーからのＤＶ被害等の相談先として次のような窓口を聞いたことがありますか。聞いたことのある相談機関や窓口等に**すべて**○をしてください。

１．女性の人権ホットライン（法務省）	２．インターネット人権相談受付窓口（法務省）
３．警察総合相談室（警察）	４．性犯罪１１０番（警察）
５．女性のためのＤＶ相談（神奈川県）	６．男性のためのＤＶ相談（神奈川県）
７．女性のための相談室（茅ヶ崎市）	８．人権相談（茅ヶ崎市）

問１３　妊娠・出産等、自分の身体のことを自分で決める権利（リプロダクティブヘルス／ライツ）を、女性が有するという考え方について、どうお考えですか。（○は1つだけ）

１．賛成	２．どちらかといえば賛成
３．反対	４．どちらかといえば反対

最後の設問です。

問１４　ジェンダー平等社会の実現に向けたまちづくりについて、御意見・御要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので自由に記入してください。

調査に御協力いただきまして、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に本調査票を入れて、１２月３１日（水）までにポストへ投函してください。

令和７年度ジェンダー平等社会に関するアンケート調査報告書
令和８（２０２６）年３月発行
発行　茅ヶ崎市　文化スポーツ部多様性社会推進課
〒２５３－８６８６　神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目１番１号
電　話　０４６７－８１－７１５０（直通）
ＦＡＸ　０４６７－５７－８３８８
ホームページ　https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/